

六稜同窓会142周年総会

日 時：2015年10月25日（日）13時から
場 所：北野高校 多目的ホール・六稜会館
担当期：96期 詳細は65号にてお知らせします

年会費納入のお願い

同窓会の活動の原資は皆様に納入していただく年会費です。このほど納入にクレジットカードの使用が可能になり納入がし易くなりました。会費納入がまだの方は次の四つの方法のいずれかで納入をお願い申し上げます。

1. ゆうちょ銀行での振り込み

この会報に同封の払込取扱票をお使い下さい。

加入者名：六稜同窓会
口座番号：00990-4-68025

・名簿や記念品の申込にもこの票をお使い下さい

2. コンビニエンスストアでの振り込み

同じく払込取扱票（右側に付いているコンビニエンスストア用払込票）をお使い下さい。

3. 銀行での振り込み

一般の振込用紙をお使い下さい。

銀 行 名：三井住友銀行十三支店
口座番号：普通 1077672
口 座 名：六稜同窓会

・振込者の氏名の前に必ず会員番号をご記入下さい。（会員番号が不明の方は事務局にお問い合わせ下さい）

・振込手数料は振込者のご負担でお願いします。

4. クレジットカードでの振り込み

パソコンで決済システム Pay Pal をお使い下さい。

Pay Pal の URL <http://payment.rikuryo.or.jp>

・クレジットカードは VISA, MASTER, AMEX, JCB がご利用になれます。

・Pay Pal の使い方マニュアルは六稜同窓会公式サイト（六稜 Web）をご参照下さい。

・ご利用の際に会員番号の入力が必要です（会員番号が不明の方は事務局にお問い合わせ下さい）

・Pay Pal の初回決済時に、自動決済と登録頂ければ、毎年 4 月 1 日に自動引落となり納入忘れを防ぐことができます。



協賛広告のお願い

この度六稜会報に協賛広告を掲載することとなりました。是非会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。また、お知り合いの同窓の方で協賛広告をお願い出来る方がいらっしゃいましたらご紹介をお願い申し上げます。

「六稜会報」 B5 版・次回発行 9 月 1 日（年 2 回 3 月と 9 月に発行）

●発行部数：24,000部

●原稿締切日：6 月30日

●掲載協力金：1 ページ (150×230) 200,000円
1/2 ページ (150×110) 100,000円
1/3 ページ (150×70) 70,000円
1/4 ページ (150×50) 50,000円
名札大 (30×50) 10,000円

●申し込み先：〒532-0025 大阪市淀川区新北野 2-5-13
大阪府立北野高等学校内 六稜同窓会事務局
TEL 06-6306-0374 Fax 06-6306-1335 E-mail office@rikuryo.or.jp

六稜会報
No.64

発 行 日 2015年 3 月 1 日
発行責任者 上田成之助（80期）
編 集 六稜同窓会
広報委員会
広報委員長 千種康一（88期）

発 行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>
〒532-0025 大阪市淀川区新北野 2-5-13 大阪府立北野高校内
tel: 06-6306-0374 fax: 06-6306-1335
email: office@rikuryo.or.jp

事務局 月・水・木・金 10:00～17:00（祝日を除く）

印 刷 遊文舎

〒532-0012 大阪市淀川区木川東 4 丁目17-31
tel. 06-6304-9325 fax. 06-6304-4995



六稜会報

CONTENTS

- 2 会長挨拶
- 3 名誉会長挨拶
- 4 六稜同窓会141周年総会のご報告

Party Reports

- 15 同期会報告(56、66期)
- 20 (70、74、86、115期)
- 22 123期 初めての同期会
- 23 同期会など予告
- 24 クラブ対抗ゴルフコンペ

特集

- 16 「断郊競走特集」

トピックス

- 7 北野高校SGHの取組 多文化の国
- 8 六稜山岳会総会開催 阿部隆石先生墨蹟碑によせて
- 9 六稜教志会開催報告
- 10 清水道之助さん異聞
- 11 FR委員会
- 12 北野高校宇宙開発部
- 14 東西講演会 (東京六稜倶楽部・六稜トークレー) 六稜文庫/六稜カルチャー講座

母校の窓

- 25 クラブだより
- 29 127期学年理事/クラス幹事

事務局だより

- 30 理事会報告/お悔やみ

広告

- 32 142周年総会案内
年会費納入のお願い
協賛広告のお願い



【特集】 cross country

断 郊 競 走

記憶の中の断郊～コース変遷とともに

【トピックス】

地球は青かった

風船で宇宙を旅した高校生たち

64
2015.3.1

ノーベル賞の夢

六稜同窓会 会長 上田成之助（80期）



昨年、日本中の人たちが大いに喝采した出来事の一つとして、日本の研究者3人がノーベル物理学賞を受賞されたことがありました。その授賞理由は「明るく、省エネルギーの白色光を可能にした効率的な青色LED（発光ダイオード）の開発」でした。その受賞者3人のうちの一人、赤崎教授が窒化ガリウム（GaN）系の青色LEDの開発を始めたのが、1973年のことだそうです。驚きました。私は1972年に大学の電気系学科を卒業したのですが、卒業学位論文の研究テーマが、「ZnTe（テルル化亜鉛）による青色発光ダイオードの研究」だったのです。そんなことで、今回は少し固い話になりますが、ご容赦を頂きたいと思えます。

最初にLED（発光ダイオード）が発明されたのは赤色LEDで、1962年のことだそうですから、結構古い話なんです。その後、黄色や黄緑色、橙色などのLEDが開発されていきましたが、光の3原色の一つである青色LEDができない限り、フルカラーの表示装置などには使えないわけで、私が卒業研究をしていた1970年代では、世界中の研究者が、実用になる「高輝度青色発光ダイオード」を開発しようと躍起になっていました。青色は波長が短いので、発光するには大きなエネルギーが必要で、それに適した化合物の組み合わせを世界中の研究者が探しまくっていたわけです。その当時、窒化ガリウムは結晶化するのも難しく、もうほとんどの研究者は見放していたようで、実際私も外国文献やいろいろな研究論文を見ていましたが、酸化亜鉛（ZnO）やセレン化亜鉛（ZnSe）などはあっても、窒化ガリウムについての研究はあまり見かけなかったように思います。そのような時（1973年）から赤崎教授は窒化ガリウム系の青色LEDの開発に着手されたようで、それからの10数年間、いわば「世間が見放していても、自分を信じ、わが道を行く！」という心境ではな

かったでしょうか、赤崎教授と弟子の天野氏は、見放された窒化ガリウムについてコツコツと研究を続けられていたんでしょうね。とうとう1985年に窒化ガリウムの単結晶化に成功、1989年に世界で初めて青色LEDの開発に成功されました。ちなみに、私の作っていた「ZnTe系青色発光ダイオード」は残念ながら常温では発光せず、液体窒素温度（マイナス200℃くらい）に冷やしてやっとかすかに発光する程度の「超低温青色微光ダイオード！」にしかならず、実用化にははるか遠く及びませんでした。

そして「夢」の話です。もしもあの時、自分の研究する材料がテルル化亜鉛ではなく窒化ガリウムを選んでいたら、ひょっとして自分がノーベル賞を受賞できたかも？…というような不遜な夢ではありません。我々の母校・北野高校の卒業生は、現在、世界中のいろんなところで、さまざまな分野において活躍されているはずで、その数は、およそ二万八千人になります（この「六稜会報」の送付先、すなわち会員数です）。そしてその人達の中には、それぞれの方が携わっておられる分野の趨勢からは外れているけれども、自分の考えや信念を信じて、地道に、独創的な研究やお仕事をされている方も、きっとおられることと思います。そういう方の中から、近い将来、ノーベル賞の受賞者が出てきて欲しいなあ…という「夢」なんです。北野高校卒業生初のノーベル賞受賞者は、はたして、どんな分野で、どんな成果をあげた人になるのか？考えただけでも、うきうきとする「夢」ではありませんか。とはいえ、もちろんノーベル賞が全てではありません。改めて、各界で活躍されている六稜会員の皆様方のますますのご活躍を、心から祈念申し上げまして、「夢」の話を終えたいと思います。

SF 世界でも六稜魂を！

大阪府立北野高等学校 校長
六稜同窓会 名誉会長 原田恵子



空中ディスプレイ・ウェアラブル機器・ドローン・水素ステーション等々、昭和世代の私にとってはまるでSF世界の話だと思えないような物事が実現する時代になっています。また、グローバル化はあらゆる面において進展し続けています。数年のうちに、私などには想像も及ばないような、今とは全く次元の異なる社会が実現するのかもしれませんが。

しかし、一方で地震、津波、火山の噴火等々、人間の築いてきた科学文明の非力さを思い知らされる自然災害の脅威も続いています。「未曾有」「想定外」という言葉を何度聞いたことでしょう。

このような社会でリーダーとなる人材を育成し続ける使命が北野高校には課せられているのです。私たち北野高校の教職員は、その責任の重さに、ややもすれば押しつぶされそうになりながらも頑張っております。何故頑張れるのかというと、生徒たちが素晴らしいからです。北野高校は次々と新しいチャレンジを行っています。生徒たちは、それらすべてに意欲的に取り組み、教員側の期待や予想をはるかに上回る成果を出してくれています。

北野の生徒たちは、知力や体力も含めて、皆優れた能力を持っています。その自分に与えられた優れた能力を、自分の幸福のためだけでなく、他者の幸福のためにも発揮したいという熱い心を持つ人であってほしいと思います。どのような時代でも、リーダーに求められるのは「人間力」だと思うのですが、それこそが「六稜魂」の目指すところだと思っています。教育制度を含め、社会の仕組みや在り方が激変していこうとしています。北野高校は、この「六稜魂」を忘れることなく進化し続けていきますので、今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。

最後に、私事になりますが、本年3月31日をもって定年退職となります。

平成25年4月1日に本校校長として着任させていただいてから、あっという間の2年間でした。前任の楠野校長先生が計画されていた「ハワイ大学語学研修」や「台湾研修旅行」「学内留学」等も順調に軌道に乗り、今年度からは新たにSGH（スーパーグローバルハイスクール）としての取り組みも始めることができました。校長として本当に充実した2年間を過ごさせていただきました。

思えば、私の教員生活38年間のうち、教諭として14年、校長として2年、合計16年もの長い期間を北野高校で過ごさせていただいたことになります。16年といえば、小学校1年生が大学を卒業するまでの期間と同じになります。その期間にふさわしいほどの成長を自分ができたかどうか、自信はありませんが、北野高校の教職員でなければ経験できない素晴らしい出来事の数々から、本当に多くのことを学ばせていただきました。

退職を控えた今、まさに、学校教育での学びを終えて、社会人として新たな一歩を踏み出す時と同じような、わくわくする気持ちと緊張感と寂しさがあります。

これからも、私自身少しでも社会のお役に立てるよう努力を続けていくつもりですので、どこかで私を見かけられました時には、親しくお声かけいただけると嬉しく思います。

今まで、本当にありがとうございました。



六稜同窓会141周年総会のご報告

松本幸久（95期）



2014年10月26日（日）、秋晴れの日和に恵まれ、六稜同窓会141周年の総会が母校の多目的ホールにおいて盛大に開催されました。昨年は140周年記念ということで中之島の中央公会堂で開催されましたので、ホームグラウンドとも言える母校に戻っての同窓会総会の開催は2年ぶりということになります。

今年の幹事は95期生が担当させていただきました。私たち95期生は、伝統ある北野高校の歴史の中でも、空前にして絶後、受験者が募集定員に満たない、所謂「定員割れ」として、当時はちょっとした話題になったものでした。その95期の同期が約90名集まり、受付やご案内、会場設営など、様々な役割を分担して運営のお手伝いをさせていただきました。

【第一部 総会】

午後1時、徳岡総務委員長の開会の辞の後に、恒例により在校生吹奏楽部の演奏が行われました。校歌「六稜の星のしるしを」に続き、「ド演歌エクスプレス」と題して、「兄弟仁義」、「津軽海峡冬景色」など、昭和を彩る懐メロメドレーが、そ



して最後はヨハンシュトラウスの「ラデツキー行進曲」が演奏され、華やかに総会のオープニングを飾りました。

演奏の後、上田成之助同窓会会長からのご挨拶がありました。その中で上田会長は、昨年の140周年記念総会を経て、今回は150周年に向けての第一歩であると位置づけた上で、厳しい財政状況の中、同窓会運営の更なる効率化に取り組んでいることを紹介されるとともに、この春からはクラブOBOG委員会を発足させ、クラブに在籍した方の縦系横系のネットワークを活用し、同窓会活動をさらに盛り上げていく取組みを始めたことを紹介されました。

次に、六稜同窓会名誉会長である原田恵子北野高等学校校長先生から、ご祝辞をいただきました。その中原田校長先生は、本校が今年、文部科学省からスーパー・グローバル・ハイスクール（SGH）の指定を受けたことを紹介されました。そのSGHの取組み



の中の課題発表において、本校生徒は、スーパーバルーン（風船）による高度3万メートルからの写真撮影に取組んでいたそうなのですが、その熱心さのあまり、校長先生としては、時にハラハラすることもあったそうです。こうしたエピソードも含め、生徒の皆さんが、今も本校の歴史と伝統を受け継いで、頑張っている様をお話いただきました。



続いて、74期の笹川忠士事務局長より、この1年の同窓会の活動について報告が行われました。その中で笹川事務局長は、同窓会の厳しい財政状況の改善を図るべく、六稜会館の休館日を増やしたことや、館内照明のLED化等の取組みについて紹介されました。また、会館催事委員会によるトークリレー、広報委員会による会報作成、クラブOBOG委員会の発足、FR委員会による大学生就活支援活動、また、陸上、水泳、囲碁などの学校の部活動に対する激励金の贈呈など、活発な活動を行っている同窓会の現状についての報告も行われました。なお、本報告に対する質問等はありませんでした。

総会の締めくくりは、恒例の、幹事期である95期同期生による卓話です。今年の卓話を担当したのは、大阪で高島クリニックを開業しておられる高島正広さんです。高島さんは、高校時代はテニス部で活躍され、現在、大阪府観光局の医療ツーリズム研究機関の代表として、各国との医療交流を推進されており、また、11月1日より、パスツール研究所の臨床免疫治療研究センター室長に就任されました。

当日の卓話は「生き生き人生 ピンピンコロシ」と題して、高齢化社会における予防医学の重要性を分かり易く説明してくださいました。健康で豊かな老後を迎えるためにも、また、増え続ける医療費を抑制していくという観点からも、予防医学は極めて重要であり、そのためのアンチエイジング・抗加齢という概念を、



具体的な例や数字などを示しながら話を進めてくださいました。総会出席者の皆さん方も、非常に興味をそそられた様子で、この後も高島さんの周りには、常に人垣ができていました。

卓話終了後は、95期の朝田さんからの花束贈呈があり、いつもは冷静な医師である高島ドクターも、照れることしきりでした。

以上午後2時40分に、第一部総会は滞りなく終了しました。

【第二部 懇親会】

第一部の総会の後は、場所を六稜会館に移し、雰囲気もガラッと変わって、皆様お楽しみの懇親会が、合計約200名の方の出席を得て、午後3時過ぎから盛大に開催されました。



司会を担当してくれましたのは95期の池田貴彦さんと藤井武嗣さんのお二人です。二人ともこの日のために、皆さん方に少しでも喜んでもらうと、様々な企画を考えてきました。

懇親会の皮切りは、本日出席者の中の最高齢者、95歳の阿部源三郎さん（50期）の乾杯でした。阿部さんは乾杯のご挨拶の中で、こうして毎年最高齢で出席できることの喜びを謝するとともに、この会に出席し続けることが、こうして元気いただけることの秘訣であると、いつもながらのハリのある声で、高らかに乾杯のご発声をいただきました。



しばらくの歓談の後、午後 3 時40分頃には、今年新たに六稜同窓会に加わったメンバーの紹介が行われました。この 3 月に卒業したのは126期生320名ということだそうです、この中から、この日は 7 名が参加してくれました。慣れないこの場の雰囲気にも吞まれながらも、それぞれ一人ひとりが思いを述べてくれました。若い力でのこの六稜同窓会を盛り上げていてもらいたいものです。大いに期待しましょう。

さて、この後は皆様お楽しみの抽選会の時間です。司会の二人が様々な趣向を凝らしてくれました。特に圧巻だったのは、賞品のプレゼンターとして、「タンバリンズ」の 3 人組が登場したことです。もちろん、彼女たちは95期の同期生の有志（徂徠千代子さん、朝田由佳さん、萩森由佳さん）です。抽選会のスタートに先立ち、この 3 人により、加齢な、いや、華麗なタンバリンさばきの「舞」が披露されました。皆この日のために、指に「タンバリンだこ」ができるくらい練習を重ねてきましたが、その甲斐もあって息はピッタリ、最後のドヤ顔までがキマってました。

また、彼女たちが心を込めて渡してくれる賞品も、意外性のある（つまり、自分のお金なら、まず買わないだろうと思われる）各種ギフト券でした。一例を言えば、「あの日に帰りたい賞」として「エステのギフト券」や、「第二の人生を新天地で賞」として、「月の土地権利書」など様々。度肝を抜くプレゼンターから、次々に披露される奇抜な賞品に、参加者の方々も、大いに盛り上がり、楽しんでいただけたことと思います。

抽選会で盛り上がった後は、来年度の同窓会を仕切っていただく96期の皆さんの紹介を行い、来年に向けた熱い思いと抱負を述べてもらいました。今年もうすでに12名の方が参加されているということで、われわれ95期を凌ぐ、素晴らしい同窓会総会にしていだけることと楽しみにしております。

懇親会も大詰めを迎え、90期の応援団の増田

昭雄さんのエールに合わせて、校歌を斉唱しました。来賓の皆様、大先輩の皆様も立ち上がって、参加者全員で声を合わせ、宴の締めを飾る大熱唱となりました。

最後は、六稜同窓会野村正朗副会長（82期）からご挨拶を頂戴しました。野村副会長は、この141周年総会・懇親会が盛会のうちに終了できたことに対して出席者各位に感謝の意を述べるとともに、次回142周年もこの場の皆さんが、またこの場に集うことができるよう会場に向けて力強く呼びかけられて、午後 4 時20分に、懇親会はお開きとなりました。

歴史と伝統のある本校におきまして、同窓会総会の運営を担当するというにはある意味気を遣う、骨の折れることであることは否めません。しかし、私たちは本校の卒業生であることに誇りを持っていますし、また、本校の卒業生でよかった、と思うことを、幾つも経験してきました。

その母校に対して50歳を迎えた節目の年、社会の中核として公私に亘り最も活躍している、そんな年に同窓会総会の運営を手伝わせていただけるというのは光栄なことであり、改めて同期の結束を固めることができたことに、心から感謝しています。

今後も、歴史と伝統の重さを踏まえながらも、変えるべきものは変えていく、守るべきものは大切に守っていく、そうした勇氣と気概を持ちながら、先輩方から渡されたバトンを確実に後輩に引き継いでいくことを心掛けたいと思っています。

最後に、至らないわれわれを見て、内心ハラハラしていたのではないと思われる、六稜同窓会事務局の皆様方に心からのお礼を申し上げて、六稜同窓会141周年総会のご報告とさせていただきます。



トピックス

●北野高校 SGH の取組

社会科教諭 穴井友知（102期）

北野が文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定（H.26～H.30）を受けて 1 年経った。英語の運用能力を前提として、自らの思考・発想・提言を積極的に発信しグローバル社会で活躍できる人材を育成する今回のプロジェクトにおいて、本校の研究対象となったのが東南アジアという「地域」であった。

『アジアと学び合うー夢を実現する国づくり』と題する北野 SGH の取組には、◇土曜日を利用した講演会 ◇年間12回の英語授業 ◇課題研究（各週 1 時間）の時間の自主研究 ◇ハワイ大学やマレーシアでの現地研修 ◇11月と 1 月の研究発表会 という柱があり、そのすべてに京都大学・関西学院大学・JETRO 等の専門家の方々のご協力を仰いでいる。

日本は経済大国であり、その将来を担う若者の育成にビジネスの視点は入らざるを得ないが、北野 SGH ではソーシャルデザインを意識し、日本と東南アジア双方にとって持続可能なパートナーシップの提言を目指すことにした。したがって、講演・英語授業のテーマも「アチェに見る災害と国際協力」「アジアの広告から見えるもの」「移民と多民族社会」「ハワイと日系人」「ASEAN と日系企業」「橋梁建設の技術とデザイン」など多岐にわたる。

海外研修の内容や講師の人選など、校内的に手の回りにくい部分でご尽力いただいたのは、京都大学東南アジア研究所岡本正明准教授（六稜102期）である。岡本先生はマレーシア研修にも同行して下さり、フィールドワークの重要性、素晴らしさ、楽しさを教えていただいた。

東南アジアは多民族・多文化地域であり、グローバル社会への対応力では日本よりも先進的であろう。だからこそ、北野 SGH はアジアと"学び合う"のである。これからも、北野のアカデミックな伝統に軸足を置きながら、真にスーパーなグローバル化されたハイスクールを目指したい。なお、取組の詳細については、本校 HP の SGH 特設ページをご覧ください。

●多文化の国

12月21日～24日、マレーシア研修の印象

社会科教諭 出口学（94期）

クアラルンプール空港で機外に出た途端、モワッとした湿気に包まれた。すでに暗くなった中を市内中心部に向かってバスで移動する。クアラルンプールのランドマーク・ツインタワーは最上部が霞んでいた。

朝食はレストランのバイキング。洋風、中華など料理の種類が豊富である。カレー風味の煮込みも数種類用意されていた。午前中のプログラムは旧市街でのフィールドワークである。カジャン修道女子高校の先生と保護者の案内で二班に分かれ見学を行った。一班はモスクなどイスラーム関連の施設へ、私が参加した班はヒンドゥー寺院と関帝廟を見学した。それぞれの文化的特徴が強く現れる空間に身を置いたことは貴重な体験であった。最後に訪れたセントラル・マーケットの中にある数多くの店舗は、この国の多文化社会を象徴しているように思われた。

昼食後には NTT コミュニケーションズの現地企業・NTT MSC を訪問し、日本人役員や、現地採用社員の話をつかかった。マレーシアでのビジネスには、両国の仕事文化や生活文化の違いをふまえた上での相互理解が重要であるということが「生の声」で語られ、生徒たちも大いに関心を持った。

翌日の午前中はカジャン高校を訪問した。本校の生徒たちは北野高校の生活や昨日のフィールドワークの様子を英語で発表した。カジャン高校の生徒たちは自身の文化をベースにしたパフォーマンスを披露してくれた。午後は油やしの利用について研究する公的機関 MPOB を見学。空港までの途中に政治都市・ブトラジャヤを垣間見て研修は終了した。

フィールドワークはもとより、訪問先の高校での催しや22日夕食後のアトラクション、そして毎回の食事と訪問先でいただいた「軽食」。いずれにも多様な文化が融合する中に各文化の要素を見い出せることが興味深かった。マレーシアの奥深さを実感した研修旅行であった。



●平成26年度 六稜山岳会総会開催

高木 祐 介 (115期)



2014年12月28日（日）、ホテルプラザオーサカにて山岳部のOB・OG総会を開催しました。約40年ぶりの開催に、43名が参加しました。

邑上治兵衛さん（68期）からのよろこびのお言葉に始まり、中馬弘毅さん（67期）の音頭で乾杯。当日配布のコメント集には多数の近況報告が寄せられ、皆大喜びでした。

会の途中では、新代表に就任した尾池行郎さん（94期）、副代表の黒田真樹さん（94期）、事務局メンバー（局長：服部敬弘さん（112期）、他5名）の紹介を行いました。また、歴代顧問の猿田茂先生、佐々木利昌先生、西川禎一先生からのご挨拶や現役の山岳部員からのビデオレターもありました。懐かしい話と美味しいお酒の相性は抜群。でも、さすが山岳部OB・OG、歓談しながらもよく食べます・・・（笑）ピュッフェ形式で過去に経験したことのない、ほぼ完食でした。

総会の最後では、代表の尾池行郎さんから六稜山岳会の今後の方針と発展について、力強いお言葉をいただきました。一同、気持ちが一つになったところで、恒例の校歌斉唱。年代によって異なる2番の歌詞の違いに笑いながら、大声で熱唱しました。

次回、平成27年度六稜山岳会総会は、2015年12月27日（日）に今回と同じくプラザオーサカの19F「淀の間」で行います。広いお部屋で、梅田の夜景と母校のグラウンドが一望できます。皆様お誘い合わせの上、是非、ご参加ください。素敵な一時を過ごしましょう！

会の予告

平成27年度 六稜山岳会総会
日 時：平成27年12月27日（日）18時開式
（受付：17時30分から）
場 所：ホテルプラザオーサカ 19F「淀の間」
連絡先：高木祐介
【TEL】090-5360-6888
【E-mail】w8510002@kwmw.jp

●阿部醒石先生墨蹟碑によせて

書道部 OG 竹澤 英代 (73期)

昭和33年4月、書道を専攻した新入生の私たちは、書道教室で阿部先生を待っていました。あの重い木の扉が開き、先生が裾を縛ったトレーナ風の服装で軽やかに入ってこられ、いきなり畳半畳の大きさのざら半紙に大きな朱筆で字を書かれました。その字の雄大さに私たちは圧倒されました。この先生にこれから教えていただくのだと思うと嬉しさでいっぱいになりました。

そのうち、先生が廊下をすべるがごとく、飛ぶがごとく歩かれ、あの雄渾な字を書かれるのは、先生が合気道の達人だからと聞き、納得しました。

ある時、先生が「みんな、へそで茶を沸かすって言葉、知ってるか？」と聞かれました。みんなは「そんなん知ってる。」と応えます。

先生は「そしたらほんまにへそで湯沸かせられるの知ってるか？」と続けます。

「それこそ、へそで茶沸かすことやないか」と秀才たちは、鼻で笑います。

先生は気にせず「丹田に氣を入れるとじわりとエネルギーが集まるんや。書を書く時もいつも氣合を入れて書くのやで。」

あの氣合の入った字を書く先生なら、へそで茶が沸かせるかも私は思ったりしました。書道の授業がなくなってからも、書道部を続けて、私の高校時代は書道に明け暮れました。

武道家の一面、先生は女生徒に優しく先生の机の周りにはいつも女生徒がいました。その中の一人が、そこにおいでのご子息の阿部豊雲先生のお嫁さんになりました。先生を慕い大勢の書道の後継者が生まれたのも当然のことでしょう。

昭和60年、私は大阪に戻り子育てが一段落したこともあって、再び先生の門を叩きました。先生は快く迎えてくださいましたが条件の一つ出されました。それは唐の孫過庭の著した「書譜」を完全に臨書することでした。

教えていただく喜びが先にたって「やります！」と言ったものの、これが大変なものであることが後からわかりました。月に2回のお稽古で半紙に4文字を3枚、先生が臨書されるのを見せていただき、次回に自作を添削していただくという、一見簡単に思えるものです。しかし書譜の冊子は1頁60文字で1冊63頁で約3700文字もあります。単純に計算すると10年は掛かります。しかも毎回同じ孫さんの書譜12文字の臨書です。



お稽古が始まりました。うまく書けたと思ってしていると「どんなもんじゃい。と思って書いたやろ。私の字をちゃんと見てたんか？」と先生は冷たく言われます。

真面目に書くのが段々しんどくなって手抜きをすると「続ける気があるのか？」と厳しい一言。氣を取り直し自分を励まし練習、練習。

5年経ち、ようやく臨書の形ができて始めた頃、先生が「私の書いている字を見ないで私の筆の動きを見てごらん。」と、筆の管に「こより」を入れその「こより」の先を大きく広げました。先生が字を書かれるにつれ、「こより」の先は前に倒れ後ろに倒れ、右に倒れ左に倒れ、筆の管は右に左に回転し、突然とまりまた動き、まるで白い蝶がひらひら舞っているようでした。今まで気が付かなかった先生の運筆の妙を初めて見せていただきました。目からうろこの思いでした。

「筆の動きがよくわかったやろ。けど、なかなか自分ではできんよ。」と、さらりと言われます。

その通りでした。先生と同じ運筆にそう簡単にたどり着けるものではありません。しかし先生の真似をしているうちに思った字が書けるようになりました。

10年近く掛かりようやく「書譜」の最後の文字を書き終えたとき、先生から嬉しい言葉を頂きました。

「これからはどんな字でも書ける。自信を持ていい。」

今私たちの前に先生の墨蹟碑が立っています。立派な石に刻まれている先生の文字は力強くそれでいて暖かく優しい。そのうえ気品があります。

阿部先生に出会え、書道を教えて頂けたことは、私にとってなんという幸せなことだったでしょう。

●第一回 六稜教志会開催報告

平成26年度 教育実習生 本郷 茜 (123期)

私たち平成26年度教育実習生は9月21日（日）に第一回六稜教志会を六稜会館にて開催いたしました。

私たちは5月下旬から北野高校へ教育実習に行き、教員としての仕事を体験させていただきました。初めての授業のためにたくさんの準備をしたり、生徒とともに部活動を行ったりと充実した時間を過ごす中で、教員としての仕事の本質は何かであるのか、大阪の教育はどうなっているのかなどわからない点が多く出てきました。しかし、それらについて考える機会は少なく、またそのような場も実習中にはありませんでした。

そこで、73期梶本さん、111期松岡さんにご協力いただき、教員、また教員を志す者の会を発足させました。そして、今回の第一回教志会の目的を「教員と教員を志す者とのコミュニケーションを図ること」といたしました。

111期植西智彦さん、大阪市立弘済小中学校校長の赤間英松先生にお話をいただきました。講演では、「第一線で活躍されている先生方の話を聞いて勉強になった。」「初心にかえる、いい機会になったと思います。」などの意見が寄せられました。その後、グループに別れレクリエーションを行いました。大学生、教員、退職された方がいるなかで、皆さんが楽しめ、世代を超えてコミュニケーションできるよう私たちが一生懸命企画しました。どの班も笑顔で、「楽しく参加させていただきました。」「よく考えられていて、コミュニケーションの推進に役立っている。」などのご意見をいただきました。懇談会では、自治体や学校の垣根を越えて、有意義な情報交換ができました。「さま



ざまな立場の先生とお話することで、普段聞くことのできない情報を伺え勉強になりました。」「もっと長い時間話したかった。」など、アンケートも好評でした。

今後は、次年度からの教育実習生に引き継いでいってもらい、教志会の活動を続けたいと考えております。次回は今回参加できなかった方、少しでも教育に興味がある方がたくさん来ていただけることを心よりお待ちしております。
六稜教志会メールアドレス
kitano_kyoushikai@yahoo.co.jp

●50期大先輩 清水道之助さん異聞

見 方 順 (65期)



私が清水さんの辞典『日泰小辞典』を求めて阪急宝塚沿線服部駅のすぐ近くの閑静な御自宅を訪問させていただいたのは平成20年の1月10日のことで、駅前には戎さんの日で賑わっていました。私は、タイ語を年甲斐もなく、勉強してやろうと地元豊中の図書館で辞書を探している時、偶々清水さんの辞典に出会い六稜同窓会々員名簿から50期の大先輩である事が判りました。心よく応接間に通していただき、サイン入りの一冊を分けていただき、御本人の御写真も撮らせていただきました。バックにはタイかインドネシアの絵画が飾ってありました。平成8年の5月に発刊された経緯を色々資料と共に、聞かせいただき、東大経済

学部を卒業され、住友金属に入社され、その途中に出征されました。陸軍士官として、ビルマ、タイ、インドネシアを点々と、進駐する間に、タイ語、インドネシア語をマスターされ、驚いたことに、その経験をもとに、復職され、定年後75才から約2年かけて、全く御一人で650部自費出版されました。もともとドイツ語で賞をとられる程の腕前だったそうですが、約八千語389頁にも及ぶ単語を一字一字パソコンに入力され、その御苦労は大変だっただろうと推察します。全く驚くばかりの精力、ファイトです。

残念なことに、平成23年9月、92才でお亡くなり、もっともっと戦争当時の入隊から復員にかけて詳しくお聞きしておけばよかったのにと後悔しています。毎日、少しづつタイ語を勉強する時に、この宝物を利用させていただいています。ご冥福をお祈り申すと共に、この様な偉大な先輩を持った事、誇りに思っています。最後に、清水さんの遺された言葉『私はインドネシア語会話を3ヵ月で概ねマスター出来た。是非、世界語、国際語としてインドネシア語を見直して貰いたい』



清水道之助君のこと 阿 部 源 三 郎 (50期)

清水道之助君は50期の同期生で大変優秀な方であり、彼は私の隣の小学校(汎愛小学校)の出身で、戦後の同期生会でよく会い楽しく語り合った間柄でしたが、文中にある様な特異な才能があることは存じませんでした。私と異なり寡黙な方で、残念なことに平成23年に物故され、現在50期生は10数人の生存者がおられますが、元気者は小生1人となりました。

Produced by 六稜同窓会 FR 委員会

5月2日(土)行列のできる就活相談所&若手交流会開催

『行列のできる就活相談所&若手交流会』は、今年で8回目を迎え、学生・社会人合わせて100名近くの方にご参加いただけるFR委員会主催の大イベントにまで成長しました。今年は、就職活動の時期に合わせ5月に開催することとなりました。

就職活動を通して、今までの自分や将来の自分に目を向け、初めて「仕事」について真剣に考えるのではないのでしょうか。その過程を実際に社会で働いている六稜の先輩方に少しでもサポートしてもらいたいという思いからスタートしたイベントです。また、社会人にとっては、学生からの仕事に対する素朴な質問から、改めて仕事をしていく上での大切な気持ちを思い出す場にもなります。ぜひ多くの卒業生の方にご参加いただき、懐かしい仲間や世代を超えた六稜生と一緒に多くの気づきがある場にしましょう。

開催日時：5月2日(土) 13:00~17:30 (予定)、その後懇親会
開催場所：六稜会館 3階六稜ホール、および北野高校多目的ホール
対象：就職活動中の六稜生、および20・30代(106期以下)の若手六稜生

第1部

就活相談所2015

●対象：就職活動中の六稜生
あるテーマを元にグループワークやパネルディスカッションを行います。

若手交流会

●対象：20・30代(106期以下)の若手六稜生
卒業後、様々な職業に就かれている方が集まる交流の場とします。

第2部

合同イベント 若手社会人×就活生 クロストーク

●対象：20・30代(106期以下)の六稜生
就活生と若手社会人の交流の場とします。普段の就職活動の中では聞けない疑問をぶつける絶好の機会です。社会人にとっても普段の仕事を改めて考える場となります。

※第2部終了後、十三周辺で懇親会を行う予定です。

※時間・プログラムは予定です。今後変更になる可能性もあります。

※最新情報は六稜WEBまたはFacebookにてご確認ください。

前号の63号で、行列のできる就活相談所&若手交流会を2~3月に開催すると告知しましたが、昨今の企業の採用スケジュールに合わせて5月に開催することになりました。すでにご予定されていた参加者の皆様には、深くお詫び申し上げますと共に何卒ご理解、ご了承のほど宜しくお願い申し上げます。

FRのイベント情報は六稜WEBやFacebookにて順次発表していきます。イベント参加希望者は、以下のサイトで情報登録していただければ、メールにて情報を配信いたします。
登録サイト▶ <http://goo.gl/SWF8e3>

地球は青かった 風船で宇宙を旅した高校生たち

原理はこのほか単純だ。ヘリウムガスを充満させた風船を大空に放つ、言ってみればそれだけのこと。風まかせに風船は上昇を続けるが、上空へ行くほど大気は薄くなり、周囲の気圧が低下する。そのため、風船はどんどん膨張し体積を増す。結果、風船のゴムはどんどん薄くなり…耐えられなくなったところで破裂。その瞬間、風船にぶら下げていた観測機は浮力を失い、自らの重みで（地球の引力に引っ張られて）地表を目指して急降下する。

行きと帰りで2回、ジェット気流を横切るため、100kmほど東に流されてしまうが、目星をつけてある落下地点へ向かい、機体を回収して、搭載してあったビデオカメラの映像をじっくり楽しむ。映像による疑似体験とはいったものの「プチ宇宙旅行」は実はこんなに手軽に堪能できるのだ。

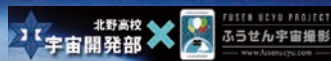
勝山杜都と上村直也は、北野の1年生の時から「2年生の課題研究でこれをやろう」と決めていた。webを検索すれば「この道の第一人者」（岩谷圭介氏、北海道在住「ふうせん宇宙撮影」主宰）は容易に見つかったし、彼も個人レベルで実施していた。何より後押ししたのは、最先端テクノロジーが我々の身の回りの手の届くところに普及していたからだろう。携帯電話にはGPS機能がそもそも備わっているし、総重量100gを切るHDビデオカメラが量販店の棚先を賑わしている。そのどれもが「お小遣い」で入手可能だ。

小学校の夏休みに「自由研究」という名の宿題に頭を悩ませた御仁は多いと思う。北野の「課題研究」も似たようなものをイメージして戴くといい。迷わないよう幾つかのテーマを予め教師が準備するが、独自アイデアのある生徒は企画書を提出することができる。勝山・上村に加え平川怜が企画書を作成。これが見事、審査にパスし、課題研究（物理）のテーマに採用された。担当教官は物理科の稲垣誠三先生。量子力学（素粒子）が専門で、必ずしも宇宙物理学に明るい訳ではなかったが「課題研究」の担当教官に相応しい名補佐役として、生徒たちの自主性を暖かく見守ってくれたという。

残念だったのは、希望者の多いテーマは「抽選」となるが、上村がこの抽選に外れてしまったこと。経緯を知る稲垣先生も自分のことのように悔しがったが、公平を期すため抽選には口を挟めなかったという。

勝山・平川のほかに、この「宇宙行きのパスポート」を手にしたのは山脇大亮、安田拓海、堀内千広の3人。上村は、単位のうえでは数学の課題研究をこなしながら、このチームに自発的に参加することにした。かくして「北野高校宇宙開発部」が誕生した。

初号機は6月23日に千里万博公園で打ち上げた。伊丹空港が近いので高度200mを越える上昇は許されなかったが、案ずることなく惨敗に終わる。40m



文責：谷 卓司
(98期・広報委員会 副委員長)



宇宙より帰還した3号機を手にした「北野高校宇宙開発部」の乗組員たち(左から上村直也、安田拓海、勝山杜都、山脇大亮、平川怜、堀内千広)。白衣は指導教員の稲垣誠三先生(物理)。

も上がらなかった。もっぱら敗因は純度の低いヘリウムガスの所為であろうと思われた。パーティグッズのボイスチェンジャーは所詮「アヒル声」専用のヘリウムガスだった。

二号機は7月26日に宇治川の河川敷で打ち上げた。業務用のヘリウムガスを調達、メンバーみんなで買った小型ビデオカメラも搭載して…本番さながらの本格仕様で臨んだ。ところが、あるところか観測機が空中分解してしまい、下半分(ビデオカメラはそちらに取り付けてあった)が葦原に墜落。周辺をくまなく搜索したが機体を見つけることはできず、失意の底での帰宅を余儀なくされた(翌日、勝山が単独で執念の搜索に出て、機体の残骸を発見した)。

こうした数々の失敗を経て、いよいよ本番。三号機の機体は半球状に落ち着いた。空中撮影用のメインカメラのほか、幾つかの実験モジュールを搭載した。風任せの風船だが、飛行物体を運行させる以上、事前に航空管制局への届け出(NOTAM申請)が必要となる。具体的には、国交省の大阪航空局に書類を提出して認可を取り、打ち上げ前日に電話連絡を入れる手順となっていた。このあたりの事務手続きは勝山が担当したが、書類の不備もあり、北海道に修学旅行中にも電話でやりとりをしたという。

先述の岩谷氏にも細かな助言を仰いだ。9月に入り、毎週末に打ち上げを計画したが、天候や風向などから彼が割り出してくれる回収率をメンバーで検討した結果、幾度も延期を繰り返した。そうして運命の10月4日が訪れる。



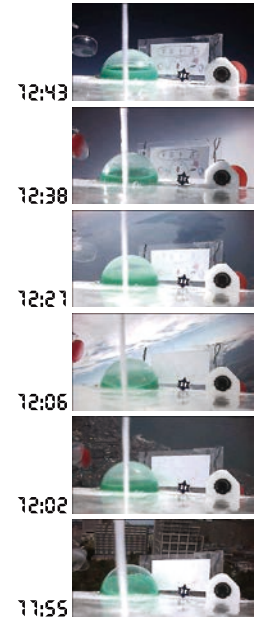
▲三号機「アナライザー」
(写真は帰還後に撮影したもの)

この日の回収率は60～70%。台風18号が奄美諸島に接近しており、決してBESTではなかったが、見送れば見送るほど気流などのコンディションが悪くなるばかりで、「シーズン」を逃してしまうので、ついに意を決した。

当日は朝8:00に阪急梅田駅に集合。野球部の試合と重なった山脇が不参加。JR神戸線で西へ向かう。8:20にJR車中で岩谷氏よりメール到着。明石周辺で打ち上げて琵琶湖東岸に落下させる飛行計画図が送られてきた。勝山が得意のスマホを駆使して適当な緑地を探し出す。神戸市西区の西神中央公園に目星をつけた時には、新長田駅に停車する直前だった。

慌ててJRを降りたメンバーは地下鉄西神・山手線に乗り換える。所用約20分。目指す西神中央は終着駅だ。公園は駅から歩いて数分のところで、9:30には到着した。ところが、ヘリウムガスが問題だった。

▼サブカメラの映像(抜粋)



ジェット気流
(対流圏偏西風)
風速30m/s位。
冬季は100m/sに達することも。
夏季は半分に弱まる。

■打上げ地点

西神中央公園 (神戸市西区梶台6)
北緯 34.715570°
東経 135.019165°

■落下(回収)地点

愛知川の側道そば (滋賀県愛知郡愛荘町石橋)
北緯 35.188451°
東経 136.218303°



ボンベが重いので勝山が協力者に頼んで自家用車で運んで貰う約束になっていたが、昨日まで「明石方面」だった行き先が「西神中央公園」に決まったのは僅か1時間前のこと。スタンバイしてくれていたとしても、高槻市から神戸市西区まで1時間で届けるのは至難のワザと言える。まして渋滞も起こりうる時間帯だ。結局、現地にヘリウムガスが到着したのは予定を大幅に遅れた11:20頃だった。

ただし、そこからは手慣れたもの。風船に無用の傷をつけないよう軍手で慎重に扱い、直径約1.6m、容積にして約2100リットルのヘリウムを封入して11:55に無事、打ち上げを敢行した。白い風船はすぐに曇り空に消えていったが、真っ赤に塗装した観測機が長い間、目視できるのを見守っていた。

計算では飛行時間は約2時間、琵琶湖東岸に落下させる予定だった。朝来たルートに戻り滋賀方面へ向かう。陸路の移動は結構時間がかかる。観測機に搭載したGPSから着地の知らせが入ったのは、JR琵琶湖線の新快速の車中だった。大津駅の手前だったか…この頃の記憶があやふやなのは、メンバーの誰もが興奮状態だった所為に違いない。JR彦根駅まで行き、近江鉄道に乗り換える。落下地点は(緯度経度をスマホで調べた限りでは)愛知川駅と豊郷駅のほぼ中間あたりだった。

校内で落下試験もした。万一、人に当たっても怪けにならないことは安田が体を張って体験済みだった(岩谷氏もwebで理論的な説明をしている)。さらに、四六時中鳴り放しのブザーを

搭載し、安全面にはかなり配慮した設計だった。それでも現物をこの目で見るまでは、期待と不安の入り交じった複雑な心境に変わりがなかった。

愛知川駅を降りると湖東ののどかな田園風景が広がっていた。落下地点はGPSで半径数mまで絞り込めている。徒歩20分の距離を手に汗握りながら早足で近づいた。

観測機は愛知川左岸の側道そばの草むらに横たわっていた。これ以上はない理想的な場所への落下だった。単に幸運だったのかも知れない。二度の大失敗を経て背水の陣で臨んだのであるが、こうもあっさり大成功を手に入れると、人は却って拍子抜けしてしまうようだ。

緊張の糸が切れたクルーの中には大風邪を引いて寝込んだ者もいたが、クルーたちが改めて「凄いことをしたなあ」と実感したのは、この成功を報告した

ツイッター上で、リツイートの嵐がひっきりなしに鳴り続けてから後のことだった。

残念ながら「高校生初」の称号は、岩谷氏が指導する札幌日大高校に1ヶ月遅れで譲ってしまったが、クルーたちの得た達成感と充実感は、代えがたいものとなってそれぞれの心に刻まれたことであろう。

(編註)地球の大気圏に明確な境界はなく、海拔高度100kmをカーマン・ライン(Kármán line)と呼び、このラインを超えた先が宇宙空間、この高度以下が地球の大気圏であるとされている。勿論このことを踏まえたうえで、クルーたちは今回の挑戦を「宇宙」からの帰還と擬似的に称している。

また、彼らの活動を詳細に知りたい方は、「北野高校宇宙開発部」という名前で、ブログ(<http://kitanospace.blog.fc2.com/>)やツイッター(@kitanospace)で報告がなされているので、そちらをご参照いただきたい。

東西講演会

東京六稜倶楽部

<http://rikuryo.or.jp/tokyo/rikuryo-club/>

日 時◎毎月(第3)水曜日
11:00開場 11:30開演(約2.5時間)
会 場◎ライオン銀座クラシックホール
(銀座ライオン7丁目店6F)
会 費◎2,000円(ランチバイキング付)
主 催◎東京六稜会
共 催◎松本邦宏@70期/細見裕子@77期/山上芳昭@79期

3月18日「日本のインテリジェンス その光と影」
第147回 三谷秀史さん@82期(拉致対策特命担当 内閣府参与)
4月15日「演題未定」
第148回 角田修一さん
7月15日「70期のエジプト旅行」(仮題)
第151回 加藤直日子さん@70期

六稜文庫 (12月末までのご寄贈受付分)
<http://rikuryo.or.jp/books/>
『カメラ・レンズ 新思想体系 第1巻』 西沢正樹(87期)
『茂吉のプリズム 斎藤茂吉歌集150首抄』 北村芙佐子(64期)
『三方の海 母の愛は恩讐を越えて』 久寄拘子(66期)
『プロデューサーシップ 創造する組織人の条件』 山下 勝(103期)
『羊が一匹、羊が二匹 ぐっすり眠れる羊のはなし』 福井栄一(97期)

六稜カルチャー講座

日 時◎毎月 第3 / 第4 金曜日 14:00～
会 場◎六稜ホール(六稜会館3F)
費 用◎会館維持協力金500円
※お問い合わせは…同窓会事務局まで



「世界史の旅」
佐々木利昌先生

3月27日(第4金曜日)
5月15日(第3金曜日)
7月17日(第3金曜日)
9月18日(第3金曜日)
11月20日(第3金曜日)



「英文学の名作の旅」
佐野哲郎先生

4月24日(第4金曜日)
6月26日(第4金曜日)
8月28日(第4金曜日)
10月23日(第4金曜日)
12月25日(第4金曜日)

六稜トークリレー

<http://rikuryo.or.jp/talkrelay/>

日 時◎原則、毎月(第1)土曜日 ☆印は第2土曜開催月
13:30開場 14:00開演(約2時間)
会 場◎六稜ホール(六稜会館3F)
※1Fロビーも同時使用可
会 費◎500円(お飲み物を準備しています)
主 催◎六稜同窓会
共 催◎各期同期会 or クラブOB/OG会など

3月7日「私のリーダーシップ論～ラグビーから学んだこと」
第127回 廣瀬俊朗さん@112期(ラグビー日本代表 東芝ブレイブルーパス所属)
4月4日「言葉が持つ力～アナウンサー流「言葉」の使い方」
第128回 阪田陽子さん@97期(フリーアナウンサー NHK「ニュースウォッチ9」ニュースリーダー)
☆5月9日「パリの佐伯祐三をゆく旅・パート2」
第129回 勝村義和さん@71期(作家/画家)
☆6月13日「米国のシェール革命：その実態と今後の展望」
第130回 牧 武志@73期(牧エネルギー工学研究所 代表 元 帝国石油株式会社 代表取締役副社長)
7月4日 [検討中]
第131回

8月1日 [検討中]
第132回

9月5日「太陽電池のキホン」
第133回 佐藤勝昭さん@72期(東京農工大名誉教授・
(独)科学技術振興機構(JST)研究広報主監 兼 研究開発戦略センター(CRDS)フェロー)

※予定は変更になる可能性があります。直前に六稜Web等でご確認ください。

Party Reports

●春秋に集う56期

青 木 博 (56期)

満89歳を迎える我々56期生は、今年も5月16日(木)の春の集いに続き10月25日(土)に秋の好天のもと恒例の大阪の宴を開きました。

歳と共に髀肉をかこつ級友たちが増えるのはやむを得ない仕儀ですが、今回も元気者9名が揃い母校近くのホテル・プラザ オーサカ花伝の間に“つどい”ました。亀岡 武、菊池茂行、下條武男、螺良英郎、原 亨、平山文夫、若林 稔、横山嘉司、青木 博の9名でした。さすがに老人の集りとして誰一人遅れる者もなく定刻に開会、先ずは記念写真の撮影、亡き級友への追慕・祈念の黙祷を経て、横山くんの司会で螺良くんが音頭を取り盃を上げて開会となりました。

昭和17年・18年と戦争の最中に卒業した夫々の来し方と近況を披露した後は、偶々青木が持参した「昭和18年卒業アルバム」の回覧が呼び水となり、一同青春を取り戻したように級友の誰・彼の顔に面影を偲び「あの時、この時」は「こんなだったなあ」「あんなだったなあ」とみんな懐かしさ一入でした。

巻末には4年終了進学の秀才たちが憧れの旧制高等学校や軍学校の姿で収録されており、当時漸く厳しくなった世相の中での苦心の編集を終えたアルバム委員(伊東史郎、森島隆夫、螺良英郎)諸君の言葉「朝に友を呼び、夕べに別れ、手に取



5月16日の写真



10月25日の写真

り携えて、共に学びし五年間は今後一生涯に於いて最も想い出深いものでなくてはなりません。此の後如何になり、また何処に居ろうとも天下の北中生であった自分を忘れることなく、またこの間に得た尊いものをして一層心の糧として、益々自己に有意義たらしめるべく努めようではありませんか。」と結んでありました。追憶の儘に、歓談は延々と時を忘れて続きましたが、やがて閉会近くになり校歌合唱に続き、下條くんの指導でラグビー対天中戦での応援を思い浮かべ「三、三、七拍子」「二、二、二拍子」で締めました。

次回 春は平成27年5月29日(金)と決定し、会場も各人の足の弱りも考慮して梅田駅に繋がる近い所にしようと一決して「阪急電鉄梅田駅の北側 新阪急ホテル地下一階(モンスレー)」に決まりました。

56期の皆さん、お誘いあわせの上 奮ってご参加ください。

●66期 有志会報告

三 吉 隆 裕 (66期)



昨年10月25日に43名が大阪駅前ヒルトンイーストの聘珍樓に集まり珍しい二胡の演奏などもあり賑やかな会となりました。

昭和29年卒業で 昨年が丁度60年記念に当たり、その上 齢(よわい)80歳!傘寿のお祝いも兼ねることが出来ました。岩崎君が傘寿にちなんでミニチュアの和傘を手配してくれて、良い記念になりました。

数年前から通信費節約のため同期会から有志会にと形を変えましたが、要望もあり再度 有志会のメンバー以外の全員に会のPRをしました結果、反響大きく次回は参加者が増えることになり、昨年にも増して賑やかな会になることを期待しています。同期の諸兄姉の健康を祈り報告と致します。

断郊競走(cross country)

ー記憶の中の断郊〜コース変遷とともにー

松田 典子 (95期)

今年も、2月6日(金)に淀川河川敷にて断郊競走が行われました。626人の1、2年生が、男子10km、女子7kmを走りました。半袖、短パンで、健闘しました。断郊競走は、昭和10年2月2日に第1回が開催され、その後敗戦直後の昭和21年の中止を除いて、今年で第79回を迎えた、昭和から平成へ連綿と続いている名物行事の一つです。

120周年記念誌には、第1回が実施された時代風潮を次のように記されています。「今や国を挙げて長期建設に備えつつある時、消極的になりやすき心身を鍛錬し、困苦辛酸に耐ふるの精神力と強靱なる体力とを養ひ、以て一層銃後中学生の意

気を発揚せん」(耐寒長距離走実施要項)

1〜3年生全員と4・5年生の希望者が参加し、「学校ー新淀川大橋(現十三大橋)ー長柄橋」の3,059m折り返しを3年生以上が走り、2年生は2,259m折り返し、1年生は1,409m折り返しを走った、とあります。

その後、淀川堤防及び河川敷工事などの影響もあり、走行距離・コースとも何度も変遷し、本年のコースになったのは平成13年度からのようです。走行距離・コース、表彰の方法などを年表にまとめました。図書室、体育教官室に保管された資料とアンケート回答から作成しましたが、全年度の資料が揃っておらず、不十分であることをご理解ください。

年 生	期	50	70	90	90	100	110	120	129												
年度	9	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	63	1	2	平成	7	12	17	22	70	79
		(図書館保管資料)より(記載年度のみ)																			
距離	男子	『北野の体育』より																			
km		1051m																			
女子		10 km																			
		7.2km																			
		5 km																			
		7 km																			
		コース図はあるものの距離不明																			
コース図		O1: 堤防上→淀川大橋北詰→淀川大橋南詰→水道陸管(折り返し)→十三大橋南詰→十三大橋北詰→校庭 O2: 校庭一周→十三大橋北詰→十三大橋南詰→長柄橋南詰→長柄橋北詰→十三大橋北詰→校庭 O3: 校庭一周→十三大橋北詰→淀川大橋北詰→淀川大橋南詰→十三大橋南詰→十三大橋北詰→校庭 O4: 校庭一周→十三大橋北詰→十三大橋南詰→長柄橋南詰→長柄橋北詰→赤川貨物線(折り返し)→十三大橋北詰→校庭 O5: 校庭→東海道線→淀川大橋北詰→淀川大橋南詰→長柄橋南詰→長柄橋北詰→十三大橋北詰→校庭 O6: 校庭→東海道線(折り返し)→十三大橋北詰→赤川貨物線(折り返し)→十三大橋北詰→校庭 O7: 校庭一周→十三大橋北詰→長柄橋北詰→赤川貨物線以东(折り返し)→十三大橋北詰→校庭																			
第1回	第1回	新十三大橋→淀川大橋(折り返し)→新十三大橋→十三大橋→淀川河川公園(折り返し)→十三大橋→新十三大橋(女子ゴール)→新十三大橋(折り返し)→新十三大橋(男子ゴール)																			
競走方法	クラス別	■: 女子・河川敷折り返しコースあり ◆: 距離調整トラックあり																			
表彰	※1	男女別 学年別による個人競技																			
		男女別 学年別1位～10位																			
		※3: 1～3位: 賞状と六枚バッジ 4～10位: 六枚バッジ																			

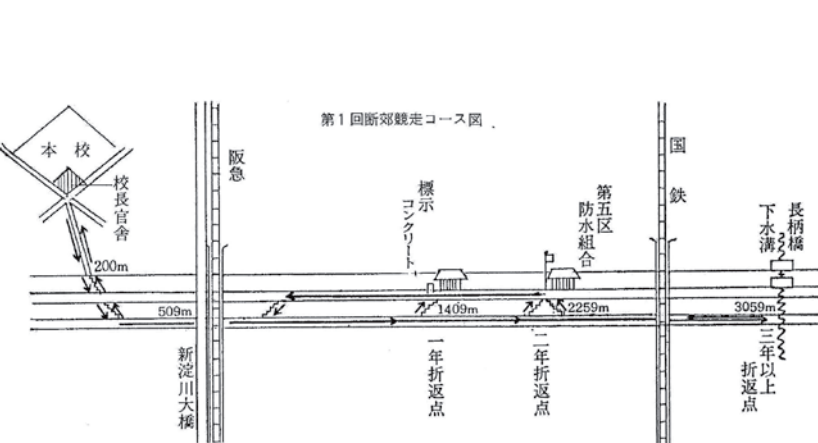
※1: 1位: 六枚メダルと手拭い
2位: 競技メダルと手拭い
3～5位: バックルと手拭い

※2: 団体優勝・鉛筆一本

☆: 学年別個人競技

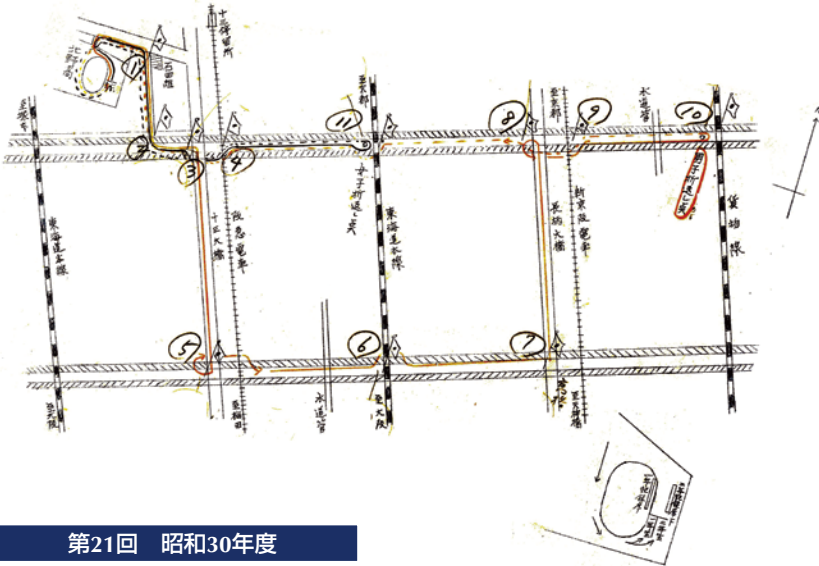
※3: 1～3位: 賞状と六枚バッジ
4～10位: 六枚バッジ

新刊競走年表(概略)



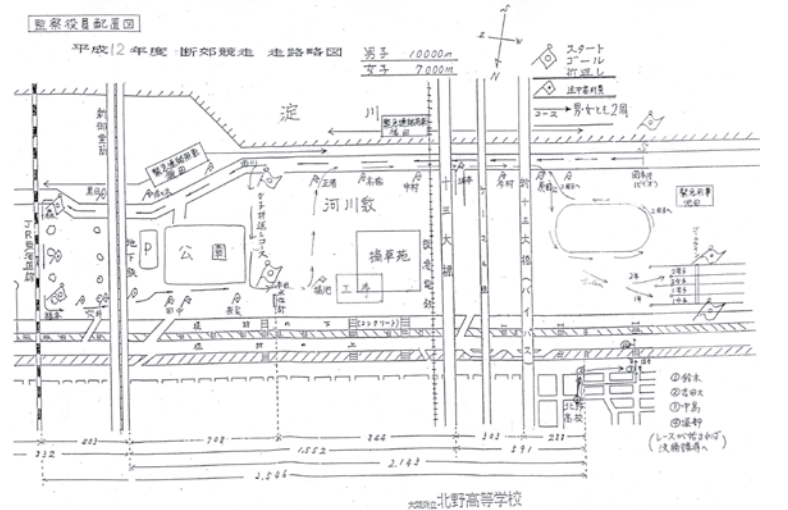
第1回 昭和9年度

この当時の1〜3年生は今の中学生。
3年生で3kmは、妥当な距離だったのでしょう。



第21回 昭和30年度

赤川貨物線まで走って折り返したこともありまし



第65回 平成12年度

河川敷に200mトラックができたので、そのトラックをスタート・ゴールにしました。



上図は今年のコースで、男女ともAからBを往復。男子はCからDを往復付加

【～59期】（54期、55期、56期、58期）

- ・学生時代に箱根駅伝にも出られた井上正孝先生（剣道）と一緒に走られたのには驚いた。
- ・懷中にバターボールを忍ばせて仲間と栄養補給と称して口に含みながら楽しく走った。
- ・毎回完走し、終わればヤレヤレと安心した。
- ・出席簿順にゴールして叱られた。
- ・前半サボり、後で頑張り11位になったが、10位まで名前が発表され口惜しかったことを覚えている。

【60期～69期】（60、61、63、64、65、66、67、68、69）

- ・クラスの団結精神を叩き込まれていたのも、しんどそうに走っている友達を励ましながら走った。
- ・12kmを裸足で走った。途中で足の裏に血豆ができたが、痛くはなく完走した。
- ・達成感があり、楽しかった。
- ・陸上部の皆さんに後をついて走った。やはり陸上部には敵わないと思った。
- ・ふとももに寒冷尋麻疹ができて赤く腫れた。
- ・途中で迂回しないように、手のひらに印を押された記憶がある。
- ・楽しかった記憶。でも女子全体では「大変」「厳しい」と話していた。
- ・陸上部はここぞとばかり張り切っていた。
- ・思いがけない順位になれて楽しかった。
- ・寒かったが到着時には顔に潮が吹いていた。
- ・テニス部の部活の後に、練習した。走りすぎて当日終了後には右足が疲労骨折していた。
- ・成績も一番、断郊も一番の同級生がいた。

【70期～79期】（70、71、72、74、77、79期）

- ・他のクラブを意識していた。（サッカー部）
- ・クラブの仲間と走った。
- ・阪急鉄橋から長柄橋までの堤防に点々と連なる姿が壮観であった。
- ・陸上部長距離連中が上位を占める中、短距離専門の自身が優勝した。
- ・途中は歩いたが、なんとかゴールした。
- ・旗か幟を担いで走って、平石先生に呼び出しを受けた人がいた。一緒に担ぎたかった。

【80期～89期】（82、83、85、86、88、89期）

- ・最後まで走り抜く忍耐力を得た。
- ・ラグビーの公式戦と重なり、ゴールで順位カードを渡す役になり、好きな女の子の帰りを待った。
- ・その試合に勝ったら第二次断郊を走らなくてもよい、と言われて実力以上の結果を出した。
- ・確か上位20位まで入賞バッジを毎年もらった。
- ・調子よく走っていたが、折り返して追い風になった途端失速し、辛かった。
- ・ランナーズ・ハイを十分に味わった。
- ・あの娘の声援のおかげで完走できた、のかも。
- ・「どうして中くらい順位で、競り合って一生懸命に走っているのだろう？」と思いながら走った。
- ・1年時に優勝した。2年生は同じサッカー部員が優勝し、連覇したことが一番の思い出。今でも賞状も楯も所有している。
- ・途中で腹痛となり失速したが、やけくそでダッシュして2位でゴールした。
- ・中盤苦しくて前にいた友人に並走してもらった。終盤楽になってきたので、その友人を置いて先にゴールした。バツが悪くて謝っていない。
- ・本番で初めて13kmを走ったのでペース配分がうまくできず、きつかった。
- ・サボって喫茶店に行っていた人がいる、らしい。

花井洋子さん（86期）

ゴール前で二人のデッドヒートになったことを思い出します。当日、いつも練習でトップを走っていた陸上部のAの様子が違う。Sはそう思いながら順位を上げ、いつの間にかAの背中をみながら走っていました。もうすぐゴールというところで、見学していたSのクラスの男子が「Sさん、頑張って」と声をかけました。その声にAがSに気づき、Aはそこからスパート。つられてSもスパートして二人で全力疾走。結果は、Aが1位、Sは1秒差の2位でした。

ゴール後、SはAに「ありがとう」と言われてびっくり。断郊競走は個人競走と同時に部の対抗競走でもありました。Aは陸上部のメンツを背負っていたのです。Aさん、よく頑張った。Sさん、2位でよかった。因みにSはバスケ部。二人は今も遊び友達。[Aは渡辺邦子（旧姓 青木）、Sは筆者（旧姓 真貝）]

【90期～99期】（90、91、93、94、95、96、99期）

- ・応援部では冬場は淀川でランニングや、ウエイトトレーニングに励んでいた。断郊競走は大好き。今でもフルマラソン、ウルトラマラソンを走っている。
- ・1年で最も寒く、風邪やインフルエンザが流行するこの時期に何を好んで～と思っていた。
- ・女子バレーボール部顧問の松浦先生から、「バレー部から最低一人は20位以内に」の期待に応え、己の力量を超える走りをみせ、ゴール後その場で倒れた。
- ・長距離走は唯一の得意種目、気合が入っていた。
- ・学業は後ろのほうだったが走ると真ん中くらいになるので、その順位も成績に入れてほしかった。
- ・入学後に断郊の存在を知り憂鬱になった。
- ・体育授業で断郊の練習時は、次の授業まで時間がギリギリになりつらかった。
- ・体育授業のこと、河川敷に霧が出て視界不良をよいことに適当なところで時間をつぶしたこともあった。「ほんのりとした罪悪感」が忘れられない。
- ・ティーで売られるぜんざいが楽しみだった。
- ・運動部所属にも関わらず、帰宅部や文化部の人よりも遅く、情けない思いをした。

【100期～109期】（102期、108期）

- ・陸上部顧問の上田重隆先生に勝ち、うれしかった。
- ・途中で腹痛、残念な結果に。でも楽しい思い出だ。

【110期～119期】（111期、112期）

- ・気を失い救急搬送され、1週間ほど入院した。おかげで長野五輪のスキージャンプ団体金メダル獲得を生放送で見ることができた。
- ・断郊を含め北野の体育の授業方針は、体育が苦手だったために逆に自信につながった。

【120期～125期】（123期、124期、125期）

- ・走路コースの道の舗装状態が悪く、とにかく足元がつかかった。
- ・クラブ内で暗黙の競争があり、部活帰宅後も家の近くで練習していた。
- ・スタート直前に尿意を催し校歌を歌いながら走

ったが、我慢できなくなり、ひとり学校に戻った。

- ・少しでも楽しくしようと、お菓子をポケットに隠して走り、途中で食べた。

手塚治虫さん（59期）は、創立100周年記念講演で「断郊」に触れて、『身体が弱くて何かにつけて消極的であったが、断郊競走でベスト10に入り賞状をもらって「粘りさえあれば何かできる気がした」。この経験が、漫画家として過酷なスケジュールをこなしていく際に本当にプラスになった。』と述べていました。同様の趣旨を六稜WEB「われら六稜人」（第39回）でも語っています。（<http://www.rikuryo.or.jp/home/people2001/tezuka3.html>）また、自伝的マンガ「ゴッドファーザーの息子」の中でも賞状をもらって狂喜乱舞する様子が描かれています。

手塚さんだけでなく、断郊競走を走った六稜生の共通した思いではないでしょうか。

個人競走であり、クラス対抗でも競った時代もあり、また、クラブ対抗でもあった断郊競走は、深く心身に刻み込まれている気がします。伝統行事のひとつとして、今も継続していることをうれしく、誇りに思います。

断郊競走のアンケート取材にご協力いただきました学年理事をはじめとする同窓生の皆さま、そして、資料を提供いただいた図書室、保健体育教官室の先生方、資料のスキャンにご協力いただいた先生方に、心よりお礼申し上げます。

あなたのショッピングが同窓会への寄付になる！

ご存知ですか？



一度、六稜 Web を経由して amazon.co.jp でショッピングした場合、購入代金の数%がアマゾン社から六稜同窓会へ「紹介料」名目で支払われます。ぜひ、ご利用ください！
（書籍以外の商品でもすべて有効です）



←いますぐクリック

Party Reports

●平成26年度70期同窓会報告

山 路 龍 天 (70期)

本年度の同期会は、11月8日(土)、日本綿業倶楽部、通称「綿業会館」で催された。設計は渡辺節、村野藤吾参画、昭和6年竣工という国の重要文化財のなかで、恩師浜田、野々村、福田の三先生を加えて83名という多数の人々が、同館地下1階で行われた二次会まで56名も居残ってくれたのは、代表幹事別所義雄君を中心とする仲間たちの熱意と努力の賜物であろう。会の始まるまえにオプションとして2班に分かれて約50名が館内を案内してもらったが、皆この傑作建造物の壮麗さに圧倒されていた。館が戦火を免れたのは、各窓に鋼鉄ワイヤー入り耐火ガラスが嵌められていた為だという一例が挙げられる。

会そのものは、東大、スタンフォード大名誉教授で素粒子、天体物理学者、釜江常好君(2組)の卓話「発想の源が狭められ、委縮し続ける社会：どうすれば立ち直れるのか」で始まった。話はなかなか深刻で、不都合な事実を事前の根回しにより隠してきた「委員会」の歴史を覆すような、豊かな発想の源となりユニークな人物を生む「相互に独立な」知的集団ないし地域社会を改めて取り戻すべく、我々一人ひとりが社会的責任を感じて行動しなければならないという訳だった。

後は恒例のワイワイ、ガヤガヤと賑やかな同窓

会であったが、やはり「大東の国の運命」は、いつまでもわれらの「青春の肩にかかれり」ということであろうか。

●74期みなわ会報告

壽 榮 松 正 信 (74期)



私たち74期は毎年同期会を実施しています。昨年も2日にわたって実施する密度の濃いものでした。11月15日(土)は、同期の阪田雅裕君が六稜会館でのトークリレーでの講演を聴講、二時から二時間の話は、憲法解釈なども含め、時の話題を取り混ぜながら、高校生にも解るような簡易な言葉で話して頂いた。さすが内閣法制局長官を務めた経験からの話には重みがありました。

講演会終了後総会に移り、まず昨年以降に亡くなられた3名の方に黙祷を捧げ、その後会計幹事より昨年度の会計報告があり、承認されて総会を終わりました。総会終了後に記念撮影を行って校長室に移動し、学校所蔵の佐伯祐三の絵を見せて

いただきました。卒業後50年を超えていますが、現役時代にも見せていただけなかったものだけに、またまた感激。校長室にて、亡くなった同期和太守卑良君の陶芸作品にも対面。その後、会館地階へ会場を移し、手塚治虫の直筆アトムにも会いました。



母校北野高校での文化の集いは三時間を過ぎていましたが、疲れを乗り越え、次の懇親会会場のプラザオーサカホテルに向かいました。北野高校の校舎を間近に見ながら、50数年前を思い出して旧交を温めました。



大 倉 春 子 (74期)

11月16日(日)は、明日香村ハイキング。当日は奇しくも天皇、皇后両陛下が奈良に行幸されていて、早めに到着した人は、大変近くで両陛下をご覧になれたそうです。



参加者20名程、心は高校生の頃に還って、遥か昔に山崎馨先生に連れて頂いたコースを52年振りに西久保さんと、名ボランティアガイドさんの素晴らしい案内で紅葉に染まった中を、和気藹藹で辿りました。

高松塚、石舞台、万葉文化館等散策後、飛鳥坐(あすかにいます)神社では「飛鳥古京を守る会」の会長をされていた山崎先生のお名前が刻まれた記念之碑(2010年建立)や会津ハニー(先生が最期迄研究されていた)の歌碑の前に立つと、当時の先生のお姿が偲ばれて万感胸に迫る想いが致しました。

飛鳥弘文宮司様の色々お話しがあり、おんだ祭

と言う男女和合の奇祭は大勢の参拝客で賑わうとか。

又神楽舞台正面の板戸を開け放され、現れた素晴らしい景色は本当に美しく感動しました。

同窓会の締め括りが、有意義な楽しい思い出で幕を閉じました事を深く感謝致します。

●卒業40周年～86期同期会報告

津 田 仁 (86期)

平成26年8月16日、ホテルプラザオーサカにて、86期卒業40周年記念同期会を開催しました。50歳の全体同窓会幹事担当の時以来、久しぶりでしたが、一次会には152名、二次会には102名の参加で大いに盛り上がりました。

物故者への黙祷のあと、お酒がまわる前にと全体写真撮影、そして3年時のクラスごとに席に着き開宴です。サプライズは同期生とお父様が撮りためておられた在学当時の8ミリ映像の上映。運動会のリレー、ダンス、仮装行列、棒倒し…みんな若い!懐かしい!背景に映っている旧校舎も!続いて2年のクラス、1年のクラスと順に旧交を暖め、記念品争奪じゃんけん大会で最高潮に達します。大人気の「六稜同窓会」の銘がはいったペンセットは、卒業記念品余剰分を同窓会事務局から譲っていただき(もちろん購入して、念のため)景品に。お礼に?特別賞「六稜同窓会費一回だけ肩代わり賞」を設定して同窓会費の納入を促進・啓発し、学年理事の務めも果たしました。中締めはやはり校歌斉唱、大阪締めで締めました。

記念に、三年時のクラスごとの集合写真と各自の名前を印刷し、さらに居住地とメッセージを一覧表にして添えて、冊子にしたものを持ち帰ってもらいましたが、これもみんなに喜んでもらえたようです。宴の前の学校見学を含めると7時間近くになる同期会でしたが、短く感じ、名残惜しかったです。何かとサポートしていただいた同窓会事務局には、心からお礼を申し上げます。



●第3回六稜115期同窓会開催

高木 祐 介 (115期)



2015年1月3日(土)、3回目となる115期同窓会をホテルプラザオーサカにて開催しました。4年に1回開催されるこの同窓会、今回は異例の新年開催になりました。

11月中旬に6名の有志幹事が結成。安藤裕二君、杉田峻介君とともに、メールやFacebook、LINEを駆使し、約1ヶ月間、計画的に連絡を回しました。結果、200名程の方々から返信がありました。

同窓会当日は、83名が参加しました。テーマは、『北野と懐かしい仲間の温故知新』。一同は、美味

しいお酒と懐かしい話を、綺麗な夜景を眺めながら楽しみました。4年ぶり、あるいは卒業式以来の再会もありました。この間、家族ができている人が多数みられ、会の途中では、115期同士の結婚報告をしてもらいました。この4年間で、なんと5組！結婚や出産のご報告に、参加者からは歓声が沸きました。

会の最後には、次回の幹事と学年理事を選任しました。その結果、第4回六稜115期同窓会の幹事は、今回の有志幹事が務めることに決まりました。学年理事には、糸川真実さんと私高木祐介が就任しました。新しい組織ができたところで、校歌を斉唱しました。違う世界で活躍する同期の姿は、自身にとってよき励みになります。北野の同窓会は、原点に戻り、新たな展開へつなぐきっかけづくりになる集まりです。まさに、温故知新ですね。

次回、第4回六稜115期同窓会は、2018年12月30日(日)に行います。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず、昼の部は六稜会館にて行いました。徐々に出席者が集まり、歓談を始めていきました。懐かしい友達と出会い、写真を撮りあっていました。そして、クイズ大会が始まりました。クイズの内容は、北野にまつわる内容をメインに、様々なコアな問題を出題しました。校歌の穴埋めなど、頭を使いながらも懐かしさを感じる事が出来ました。後半は、おまちかねのビンゴ大会でした。ビンゴ大会を目当てに参加していたという声もよく聞いていたので、会場のボルテージは非常に高まり、大盛り上がりを見せました。会費をやや高めに設定し、予想以上の参加者が集まることが見込まれたこともあり、景品も豪華なものを揃えていきました。そして、予想外にもあっという間に当選者が確定してしまい、それぞれからうめき声のようなものが聞こえてきました。最後に、参加していただいた先生方からお話を頂き、昼の部は閉幕しました。

初めての同期会

●123期 初めての同期会

水 上 龍 太 郎 (123期)



2014年12月29日、待ちに待った123期学年同窓会を行いました。成人式の時に、一度同窓会を行ったのですが、今回はそれ以上の参加者が集まり、123期の仲の良さを実感しました。また、先生方も多数参加して下さり、非常に盛り上がった同窓会となりました。

そして、梅田へ移動し、「アサヒスーパードライ梅田」にて、夜の部が始まりました。ここでは、お酒も入り、立食でみな入り乱れての宴会でした。昼の部ではなかなか話せなくとも、お酒が入ることにより、懐かしい友達や、またこの機会に新しい交友関係が生まれるなど、会話を楽しんでいます。昼の部に引き続き、夜の部にも多数の同期生が集まり、現状報告や、当時の話など、他愛のない会話をして楽しみました。また、学生時代は仲が悪く、気まづくなっていた人たちが、久しぶりに集まって、仲睦まじく話すことが出来るようになるのも、同窓会の醍醐味なのではないかと感じました。

以上の行程を経て、丸一日かけて行われた同窓会が終わってしまいました。卒業から4年が経ち、本当に多くの個性豊かなメンバーが揃っていたのだなと思いました。そして同窓会終日、笑顔が絶えず、楽しんでいる姿を見ることができ、とても満足しました。思えば、準備を始めたのがまだ暑さの残る9月のことでした。同窓会事務局に足を運び、事務局の方にご協力して頂き、はがきを手配していきました。なかなか出欠連絡が集まらない中、同窓会委員のメンバーが必死になって個別に連絡を取ってくれたため、学年の半数以上の

参加者が集うこととなりました。11月頃から、週1程度で関西在住の同窓会委員で集まり、企画を煮詰めていきました。直前期には、買い出しに出かけたり、また高校へ足を運ぶなど、やや慌ただしく動きましたが、余裕を持って当日を迎えることが出来ました。当日には、各地に下宿している同窓会委員も集まり、臨機応変に動いてくれ、手際よく準備が進められ、滞りなく同窓会は進行していきました。

今回の同窓会が成功したのは、最初から最後まで一生懸命取り組んでくれた同窓会委員のメンバーのおかげといっても過言ではないでしょう。一人一人が同窓会に向き合い、企画をすることが楽しめたように思います。本当にありがとうございました。お疲れ様でした。そしてそれ以上に、合計200人近く集まってくれた123期生、そして担任の先生方が参加して下さったことこそが、何よりも重要だと思います。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、ご協力頂いた久保田さんを始めとした同窓会事務局の皆様、この場にて感謝御礼申し上げます。

次は3年後！社会に出て活躍している123期生に会うのが楽しみです！是非参加して下さい。「123期愛」！！



同期会予告

●60期同期会

日 時：平成27年5月13日(水) 11時半～14時
場 所：ウェスティンホテル大阪 1階
大阪市北区大淀中1-1-20
TEL：06-6440-1111
連絡先：岡田・三島・渋川
(代)岡田 TEL/FAX：06-6384-0761
今回は歓談しやすいよう、ビュッフェ・スタイルとしました。
誘い合せて多数の出席をお願いします。(案内状送付)

●67期同期会(卒後60周年及び少し早目の傘寿記念の会として)

日 時：平成27年4月25日(土)
10時半より同窓会館1Fにて受付
その後3Fにて式典及び記念撮影
場 所：ホテルプラザオーサカ 19F 淀の間に
12時半より会食
勿論、二次会会場も準備しております。詳細は先月お送りした案内状の通りです。メ切りは4月10日(金)までとなっております。奮って御参加下さいますようよろしくお願い申し上げます。
連絡先：日高 穂 TEL/FAX：06-6854-0524

●77期同窓会（卒業50周年）

月日の経つのは早いもので今年は卒業して50周年に当たります。記念講演、思い出企画など多数用意していますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。詳細は2月中旬送付の案内状にてご確認いただきたくお願いします。

日 時：平成27年 5 月30日（土）12時半～18時
場 所：ホテル グランヴィア大阪（JR 大阪駅直結）
梅田3 丁目1 番 1 号
TEL：06－6344－1235
1 次会／12時半～15時半 20F「鳳凰」
2 次会／16時～18時 19Fパレストラン「アブ」

●同期会開催助成金をご利用ください。

1. 助成金制度の目的

これまで同窓会事務局では同期会の開催にたいして種々支援を行ってきたが、助成金を交付することにより定期的な同期会の開催を支援し、同窓会活動への関心を深めるとともに不明者の発掘を進め、ひいては会費の納入率アップに繋げる。

●クラブ対抗ゴルフコンペを開催しました。

竹 村 哲 也（88期）

9 月28日（日）好天のもと、レークスワン CC にて第26回六稜クラブ対抗ゴルフコンペを開催。9 クラブ65名が参加し、熱戦が繰り広げられました。団体戦では、ラグビー部と野球部が同ネッ



会 費：10,000円
（1 次会のみ 7,500円、2 次会のみ 2,500円）
平成26年度 代表幹事 飯田 毅

●82期（昭和45年 3 月卒）同窓会

日 時：平成27年 5 月30日 17:00～20:00
場 所：リーガロイヤルホテル大阪 桐の間
大阪市北区中之島 5 - 3 - 6
TEL：06-6448-4414
連絡先：幹事代表 田中俊明
電話：090-8527-5517
E-Mail：toshiaki-tanaka@nifty.com

2. 助成金制度の概要

- ①助成金交付対象同期会
同期会が卒業後 4 年を経過した年及びその後毎年開催される同期会に対して年 1 回助成金を交付する。但し100期以降の卒業生で卒業後30年までとする。
- ②支援金の額 30,000円
- ③申請の手続き他詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

トで並びましたが、第 6 位のネット上位だったラグビー部が見事 2 連覇を達成されました。個人戦では、卓球部の柴田英二さん（73期）が優勝。なお、ベストグロスは石井暁さん（ラグビー・86期）と木村文映さん（柔道・100期）が78で並びましたが、年齢上位の石井さんが選ばれました。また来年、各クラブの精鋭方が腕を磨かれ、より多くのクラブが参加されることを期待しております。

2015年第26回期別対抗ゴルフコンペのお知らせ

日時：2015年 5 月24日（日）8:00スタート
場所：花屋敷ゴルフ倶楽部よかわコース

2015年第27回クラブ対抗ゴルフコンペのお知らせ

日時：2015年 9 月27日（日）8:00スタート
場所：花屋敷ゴルフ倶楽部よかわコース

花屋敷
ゴルフ倶楽部

ひろのコース

〒673-1111 三木市吉川町上荒川字松ヶ浦713-1
TEL/0794-72-0151 FAX/0794-72-1836

よかわコース

〒673-1113 三木市吉川町福井字小西谷534-1
TEL/0794-72-0111 FAX/0794-72-0490

2015年
スタジオアリス女子
オープン開催
4月10日（金）～12日（日）
よかわコース

母校の窓

《文化部》

文藝部
■2014年度
今年度は新入生を迎え、総勢15人で活動しています。週一回の定期活動日を中心に、互いに刺激を受けつつ、よりよい作品を目指して日々努力しています。また、部員全員で一つの話を書く共作も進行中です。部誌は以下のようになっています。
・ 6 月：『北野文学』『幻 六稜祭号』六稜祭にて
・ 9 月：『幻 晩夏号』
・ 12 月：『極彩色の彩空想』 茨木・北野文藝部による合同誌『夢幻』
1 月16日以降の発行予定は、『幻 新春号』
『幻 新入生歓迎号』 となっています。今後の活動指針、部員の精力源となりますので、部誌の感想、ご意見などありましたら是非、北野高校文藝部宛てにお寄せください。

E.S.S. (English Speaking Society)
■2014年度
現在、三年生が引退して 2 年 7 人、1 年23人とイギリス出身とアメリカ出身のALT の先生と大人数でわいわい楽しく活動しています。活動日時は毎週火・木曜日の17時まで、活動場所は LL 教室です。おもな活動内容としては洋画・洋楽鑑賞・ディベート・英会話などを通して楽しみながら英語に触れたり、お菓子パーティー、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティなど楽しいイベントもあります。また、英検やスピーチコンテストのサポートもしてくれるので挑戦しやすいです。台湾の修学旅行生やアメリカの姉妹校の留学生との交流パーティーの運営などもやっています。

物理研究部
■2014年
物理研究部は現在 5 人で活動しています。物理及び情報に関わることを各々が研究・勉強・制作しています。例えば
・ゲーム制作
・情報系の国家試験に向けての勉強
...等々です。

化学研究部
■2014年
2015年 1 月現在、2 年生 2 人・1 年生 1 人の 3 人で毎週火・金に活動を行っています。毎年 6 月の六稜祭では演示実験に加え、今年は展示も行う予定です。昨年はメチレンブルーの酸化還元反応についての研究を行いました。

生物研究部
■2014年度
現在、部員は 2 年生 1 人、1 年生 1 人

の小所帯です。粘菌の飼育、野鳥の観察などを行っています。個人で自由な研究を行うもよし、何人かでフィールドワークをこなすもよし、小さいながらも楽しい部活です。

地学研究部
■2014年
私たちは主な活動として天体観測を行っています。普段は屋上の天文台や地学教室で活動していますが、長期休暇中などに、外部の天文台に行くこともあります。もちろん天体観測以外にも自分たちの興味・関心に応じてさまざまな活動を行うことができます。部員は 2 年生36人、1 年生14人です。天体観測のみ参加の部員も多く、兼部している人も多いです。

美術部
◎活動状況
私達美術部は、2015年 1 月現在、2 年生男子 2 人女子 3 人、1 年生女子 4 人の計 9 名で日々活動しています。全員集合となっている火曜日の放課後以外は来るも来ないも自由なので、自分のペースでじっくりと制作に取り組むことができます。他クラブとの兼部も可能で、実際に部員の大半は兼部しています。ジャンルは基本的に自由で、絵画やデザイン、木工、彫刻など、先生の指導を受けながら、各々が興味のあるものに挑戦しています。また、先輩後輩関係なく、部員同士で仲が良くの部特長です。新入生歓迎会としてお菓子パーティを開催したり、追いコンとしてお汁粉パーティを行うなど、部員全員で遊ぶことも多くあります。◎活動内容
■2014年
1 月・コンクール展出品（1 年 4 名・2 年 3 名） 1 名入選
・年誌表紙作成
2 月・ブロック展出品（1 年 4 名・2 年 4 名）
3 月・キャンドル製作
4 月・七宝焼き（新入生歓迎）
6 月・六稜祭（看板作成・部誌発行・作品展示・抽象作品の展示・手作り給葉書販売・手作りキャンドル販売）
8 月・高校展出品（1 年 2 名・2 年 4 名）
10 月・体育大会看板作成
・人物デッサン
11 月・正しいゴミの分別案内図製作
12 月・学校中のゴミ箱を塗り直し・部誌発行
六稜祭や体育大会で使われるプログラムの表紙はすべて美術部員が担当しています。

コーラス部
■2014年
現在、二年生 9 人、一年生 1 人の計 10 人（うち、女子 5 名、男子 5 名）毎日楽しく歌うことをモットーに、毎日楽しく活動しています。秋になってから少しずつ部員が増え、活動も活発になってきました。ほぼ全員が兼部していますが、少ない練習時間を活用し、よりよいものを作ろうと努力しています。

今年度の活動
4 月・中庭で演奏会
演奏曲目：『あとひとつ』『茜色の約束』『ひこうき雲』『信じる』『もう一度』『真夏の果実』『春に』『Ain'-a That Good News !』『Soon Ah will be done』
ミュージカル『ライオンキング』より『サークルオブライフ』
・新入生歓迎コンサートに出演
演奏曲目：『Ain'-a That Good News !』『信じる』
6 月・ミュージカル『ライオンキング』を上演
12 月・文化芸術祭舞台発表部門に出演
演奏曲目：『ぜんぶ』『EV'RY TIME I FEEL THE SPIRIT』
これからの活動予定
1 月・第14回ヴォーカルアンサンブルコンテストに出場予定
演奏曲目：『ぜんぶ』『EV'RY TIME I FEEL THE SPIRIT』
6 月・六稜祭でミュージカル『サウンドオブミュージック』を上演予定
8 月・コーラス部の OBOG 会のコンサート『稜声会フェス』に部員の一部が参加予定

オーケストラ部
基本的に、演奏、指揮、運営に至るまで全てを現役の生徒が行っています。ほとんどが初心者からのスタートですが、より良い演奏のために部員一同練習を重ねていますので、ぜひ演奏会に足をお運びいただけますよう、よろしくお願いいたします。詳しくは「北野高校オーケストラ部」で検索していただき、公式ホームページをご覧ください。（2012/1/3 より移転しました。ご注意ください。）
●第68回定期演奏会
日時：2015年 5 月 4 日（月）
場所：箕面市立グリーンホール（入場無料）
曲目：メンデルスゾーン フィンガルの洞窟
ビゼー 組曲アルルの女より「ファランドール」
ハイドン 交響曲第104番「ロンドン」など
部員一同お待ちしておりますので是非聴きにきてください。

■2014年度
●部員
2 年…18名（女：13、男：5）
1 年…24名（女：22、男：2）
●主な活動報告
5 月 4 日 第67回定期演奏会
8 月 8 日～11日 合宿
10月11日 学校説明会で演奏
10月17日 体育大会で演奏
11月16日 第一ブロック演奏会
12月19日 文芸祭

吹奏楽部
現在、1 年生32名、2 年生24名の計56 名で活動しています。引退した 3 年生を含めると 89 名となり、校内の部活動としては最大の規模となります。コンクールや定期演奏会をはじめとする、数多くの演奏機会に恵まれています。お客様に楽しんでいただくこと、また演奏者自身も楽しむことを目標として、日々練習を重ねています。

部内のレクリエーションも充実していて、合宿や各種イベントを通じて、部員同士の仲を深めています。活動内容は、公式サイト、Twitterで随時更新中ですので、ぜひ『北野プラス』で検索してみてください！

■2014年	管打楽器ソロコンテスト
1月26日	大阪大会 2014 (相愛大学本町キャンパス内 アンサンブルスタジオ)
2月2日	第33回大阪府高等学校芸術文化祭 (大東市総合文化センター サーターホール) ※大阪府合同オーケストラ奏者として一部演奏
3月27日	レインボーコンサート (ホテルプラザオーサカ)
5月5日	第16回定期演奏会 (池田市民文化会館 アゼリアホール)
6月8日	六稜祭 (本校多目的ホール)
7月19日	第9回奏でよう夏の吹奏楽コンサート
7月25日	第53回大阪府吹奏楽コンクール北地区大会 高校A【金賞・代表】 (大東市総合文化センター サーターホール)
8月9日	第53回大阪府吹奏楽コンクール大阪府大会 高校A【銅賞】 (大阪国際会議場)
10月	体育大会 (本校グラウンド)
11月1日	学校説明会 (本校多目的ホール)
11月2日	第11回音の大収穫祭 (本校多目的ホール)
11月16日	第32回第一ブロック音楽会 (千里金蘭大学佐藤記念講堂)
11月24日	大阪府高等学校音楽祭 (シンフォニーホール)
12月19日	第16回文化芸術祭 (吹田市民文化会館 メイシアター)
12月26日	第40回大阪府アンサンブルコンテスト 木管八重奏【金賞】 (大東市総合文化センター サーターホール)

書道部
■2014年
今年度から活動復活しました。現在1年生の女子3人で活動しています。人数は少ないですが、古典作品の臨書をしたり、かな文字に挑戦したり楽しく活動しています。

写真部
■2014年
写真部は1、2、3年合わせて32人います。基本的に活動は年に1回の体育大会です。

放送部
現在、男子4人、女子7人の部員で、学年・男女の別なく楽しく活動しています。主な活動は毎週金曜日のお昼の放送、学校行事の司会進行アナウンス、各種コンテストへの参加です。また、週2回程度、任意参加で発声や滑舌、読みの練習を行い、技術向上をはかっています。**【2014年度の活動実績】**
6月 六稜祭…司会

第62回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 大阪予選・本選…一名参加、大阪本選出場
9月 校内水泳大会…進行アナウンス
10月 文京区主催「文の京ゆかりの文人顕彰事業『朗読コンテスト』」(於跡見学園女子大学)
…一名参加、優勝
体育大会…アナウンス、実況ラジオ関西主催第15回校内放送マイクバトル参加 (ラジオドラマ制作)
12月 文化芸術祭舞台発表部門…司会進行アナウンス、朗読劇「星の王子さま」
1月～ 第62回 NHK 杯全国高校放送コンテストに向け、ラジオドキュメント製作や、アナウンス・朗読の練習に励んでいます。

映画研究部
■2014年
今年も月に一回視聴覚室で映画を観賞しています。部員は2年生と1年生計20数人で全員が兼部しています。今年度は「キャリー」「ビッグフィッシュ」「東京ゴッドファーザーズ」「タイピスト!」…等々を見ました。映画を観賞した後は感想を言い合ったりして理解を深めています。

囲碁将棋部
■2014年
◆部員 2年男子4人
1年男子5人 計9人
◆活動日 火・水・木の放課後
◆活動場所 LAN 教室
◆活動内容
水・木の放課後には外部から講師の方がいらっしやって、指導を受けています。また、茨木高校などと交流も行っています。
◆実績
・団体戦
大阪府中等学校将棋選手権大会予選突破 他
・個人戦
大阪府高等学校囲碁新人大会D級優勝、準優勝、B級優勝
大阪府高等学校将棋選手権夏季大会C級優勝 他

ダンス部
私たちダンス部は、2008年度に同好会から部へ昇格しました！
2015年1月現在、2年生11人、1年生10人の合計21人で「感動を、あなたに」を目標に、日々仲良く楽しく活動しています。基本的に平日は毎日、土日は予定に合わせて練習しています。
2004年11月にストリートダンス同好会として発足してから、10年が経ちました。これからもたくさんの人に感動を届けられるよう、頑張っていきます。応援よろしくお願いします！

■2014年度
2014年
6月 六稜祭
8月 日本高校ダンス部選手権 近畿・中国・四国大会 出場
9月 校内中庭 発表
10月 淀川警察主催「全国地域安全運動」淀川区民大会 参加
11月 学校説明会 発表
ヤングフェスティバル 出場

12月 文化芸術祭 発表
2015年
1月 淀川区成人式 参加
2月 第10回高校生ダンスフェスタ 参加

演劇部
■2014年
現在は2年生1人、1年生4人で活動しています。
普段は、セミナーハウス三階の和室で、発声・滑舌・筋トレなどを中心に基礎練習を行っています。
部員の大半は初心者ですが、全員で切磋琢磨しながら練習を積み重ねています。

ジャズフォークソング部
■2014年度
私たちジャズフォークソング部は、1年生10人、2年生11人の計20人で活動しています。
ジャズでは、サククス、トランペット、トロンボーン、ピアノ、ドラム、ベース、ギターの7つのパートで編成されています。ビッグバンド編成で、「In The Mood」、「I GOT RHYTHM」などの曲を、少人数編成では、「I-O-V-E」、「ルパン三世のテーマ」、「Take Five」などの曲を演奏しました。
また、フォークソングではギターの弾き語りや、ギターとピアノのデュオなどで演奏しています。今年度はゆず「栄光の架け橋」、サスケ「青いベンチ」、アニメ「アオハライド」の主題歌の「世界は恋に落ちている」など、様々な曲を演奏しました。
部員同士、先輩後輩の仲もよく、また、部員のほとんどが初心者で毎日楽しく練習しています。今年度は、主に部活動紹介、新入生歓迎コンサート、六稜祭、文化芸術祭などの学校行事で演奏させていただきました。
今年度同好会から部活に昇格したばかりの新しい部活ですが、これからもどんどん成長していけたらと思っています。応援よろしくをお願いします！

《運動部》
陸上競技部
今年も快調に走り続ける陸上部は、1年男子22名、1年女子9名、2年男子13名、2年女子12名、マネージャー1名の総勢57名で本気で陸上を楽しんでいます。
昨日より今日、今日より明日と自分を日々成長させ、自己ベストを大切にしていますが、その中で近畿大会や全国大会に出場している選手もいます。短時間集中で活気のあるムードとスピードな流れの中でこれからのさらなる飛躍を目指してチーム一丸、切磋琢磨していきます。
■2014年

◎インターハイ大阪大会
男子
800m (準決勝進出)、110H (準決勝進出)、やり投、1500m (決勝進出)、5000m、5000mW、800m、やり投、4 x100mR、4 x400mR (準決勝進出)
女子
400m (準決勝進出)、400m、800m、3000m、3000m、3000m、100mH、400H、走高跳 (決勝3位全国大会出場)、走幅跳 (決勝7位)、走幅跳、やり投、4 x100mR、4 x400mR (準

決勝進出)
◎インターハイ近畿大会
女子
走高跳 (決勝5位 全国大会出場)
◎インターハイ全国大会
女子
走高跳
◎木南記念競技会
女子
走高跳 (決勝3位)
◎大阪選手権
男子
400m、3000m、5000mW (近畿選手権出場)、4 x100mR、4 x400mR
女子
走幅跳 (決勝6位 近畿選手権出場)、4 x100mR、4 x400mR
◎大阪ジュニア選手権大会
男子
110H、200m、走幅跳 (決勝7位)、走高跳
女子
400m、400m、三段跳 (決勝7位)
◎大阪総体
男子
100m、100m、200m (準決勝進出)、400m、800m、800m、1500m、5000m、110mH、400mH、400mH、4 x100mR (準決勝進出)、4 x400mR (準決勝進出)、走幅跳、三段跳、走高跳、円盤投、円盤投、砲丸投、砲丸投、やり投
女子
100m、200m、200m、200m、100mH、400mH、400mH、400mH、400m、400m、400m (決勝5位)、800m、800m、1500m、1500m、3000m (決勝5位)、3000m、3000m、400mH、4 x100mR (準決勝進出)、4 x400mR (準決勝進出)、走高跳 (決勝4位)、走幅跳 (決勝7位)

◎近畿選手権
男子
5000mW
女子
走幅跳
◎近畿ユース
女子
走幅跳 (決勝7位)
◎大阪高校駅伝
男子 (6位 近畿大会出場)
女子 (7位)
◎近畿高校駅伝
男子

水泳部
現在、部員数34人で活動中です。今年は新人大会の男子200m フリーリレーで公立トップとなる大阪8位に入賞しました！1年15人、2年19人で毎日、自己ベスト更新のためがんばっています。部の目標は、全員大阪大会 (中央大会) 出場、さらには近畿、インターハイへと繋げていくことです！

■2014年
◎大阪府選手権(6月) 於:なみはやドーム 標準記録突破多数
◎中央大会(6月) 於：なみはやドーム 23名 (標準記録突破者) 出場
男子100m 自由形 6位入賞
男子400m フリーリレー 13位
男子400m メドレーリレー 13位
男子800m フリーリレー 16位

女子400m フリーリレー 31位
女子400m メドレーリレー 26位
◎高校対校選手権(8月) 於:なみはやドーム
出場多数
男子100m 自由形 5位入賞
男子200m 自由形 8位入賞
男子400m フリーリレー B決勝5位
女子400m フリーリレー 25位
男子400m メドレーリレー B決勝7位
女子400m メドレーリレー 26位
◎国民体育大会出場於:長崎市民総合プール
◎新人大会 (9月) 於：大阪プール
出場多数
男子100m 自由形 優勝
男子50m バタフライ 8位・10位入賞
男子200m フリーリレー A決勝8位入賞
男子200m フリーリレー B決勝4位
女子200m フリーリレー 33位
女子200m メドレーリレー 29位

器械体操部
2年生男子1名、1年生男子1名の2名で活動しています。人数は少ないですが、先輩後輩の仲が良く、楽しく練習できます。
器械体操部についての詳しい情報は、「六稜体操会 (りくりょうは、ひらがなでも可)」で検索していただくとご覧になれます。
■2014年
4月 大阪高校春季大会
女子2部 団体 3位
個人 2位
種目別 跳馬3位、
段違い平行棒1位、
平均台3位
ゆか2位
男子2部 種目別 あん馬4位

柔道部
■2014年
現在、2年生男子1名 女子1名と、1年生男子1名の計3名で活動しています。平日の放課後は毎日練習に励んでいます。土曜日も時々練習しています。

剣道部
北野高校剣道部は「文武両道」をモットーに、近畿大会、インターハイ出場を目指し、日々稽古に励んでいます。剣道部の雰囲気はとても明るく、先輩・後輩とても仲が良いです。一緒に頑張る仲間がそばにいますので、勉強にも集中することができます。
★部員数 (2015年1月現在) ★
1年生：男子5人 女子3人
2年生：男子5人 女子6人
★活動場所・内容★
[剣道場] 基本稽古、応じ技の練習、かり稽古、追い込み、地稽古 etc.
[屋外] 走りこみ (河川敷、学校外周)、素振り etc.
★過去の成績★
■2014年度
◎全国総体予選 (6月)
【個人】男子A：2回戦敗退
男子B：1回戦敗退
女子A：ベスト16
女子B：1回戦敗退
【団体】男子：3回戦進出
女子：3回戦進出

◎大阪高校総体 (11月)
【団体】男子：2回戦敗退
女子：3回戦進出
◎天王寺高校定期戦

【団体】男子：勝ち
女子：負け
◎北摂大会
【団体】男子：2回戦敗退
女子：1回戦敗退

合気道部
■2014年
部員は現在1年18人、2年12人の計30人で活動しています。
私達は天之武産合気道々場に所属し、時間に余裕があれば、放課後には吹田市の道場で練習に参加させていただいています。また、今年から新しい指導員の先生に隔週1回、体術を中心にご指導していただいています。
他校の合気道部との交流もあり、今年は大手前高校や京都大学との合同練習も行いました。
夏季休業中には、吹田市の道場で合宿も行っております。
3月に行われました高校生演武大会では、武器部門で最優秀賞を受賞しました。現在、1年生は6月の六稜祭で発表する演武に向けて、2年生は昇段試験に向けて、日々稽古に励んでいます。

硬式野球部
硬式野球部は甲子園を目指して練習を頑張っています。
互いに励まし合い、時には良いライバルとして切磋琢磨し合い、日々努力を重ねています。
応援してくださいさる皆様の御期待に応えられるように、また、僕たちが野球をしている姿を1日でも長くお見せできるよう、28人全員で、これからの練習に全力で臨んでいきたいと思います。これからも引き続き、暖かいご支援・ご声援を宜しくお願いします。
【部員構成】
部員：2年生 12人、1年生 15人
マネージャー：2年生 1人
■2014年 新チーム
〈秋季大会〉
1回戦 北野 0-2 東 ●

サッカー部
現在、サッカー部は、2年生18人、1年生11人、マネージャー3人の計32人で活動しています。
近年、成し遂げられていない大阪ベスト8を目指して、人数が少ないながらも部員全員が意識高く日々の練習に取り組んでいます。サッカーができるということに対する感謝の気持ちを忘れずにプレーしていきますので、みなさん、応援よろしくをお願いします。

■2014年
〈春季大会〉
1回戦 貝塚南○ 3-0
2回戦 柴島○ 5-0
3回戦 帝塚山学院泉ヶ丘× 0-4
〈定期戦〉
天王寺× 0-4
膳所 × 0-1
〈秋季大会〉
1回戦 刀根山× 1-3

ラグビー部
北野高校ラグビー部は茨木西高校等との、合同チームになりました。現在、部員は2年2名で活動しています。計算された筋力トレーニングと、グランド練習を組み合わせることで怪我をし

ない体づくりをしています。ここ数年は少人数制選抜に三年生が選抜されるなど人数が少ない中、毎日練習に励んでいます。

常にラグビーができる事に感謝してOB・保護者の皆様の期待に応えられるようにこれからも努力していきますので、応援の程よろしく願い致します。詳しくは「北野高校ラグビー部」で検索していただき、公式ホームページをご覧ください。

男子バレーボール部

現在、男子バレーボール部は 2 年生 8 人、1 年生 8 人、マネージャー 1 人の計17人で活動しています。日々、僕らを支えてくださっている先生方やOBの方々への感謝の気持ちを忘れず、それに応えるために、自分たちで考えて実践する練習を行っています。近畿大会出場を目標に頑張っていきま

- すので応援よろしく願いします。
- 2014年
- 大阪高校新人大会二次予選
- 2 - 0 交野
- 2 - 1 山田
- 0 - 2 和泉
- 西田杯予選
- 2 - 1 西野田工科
- 2 - 1 茨木
- 西田杯本選
- 2 - 0 千里星雲
- 0 - 2 豊島
- 春の部別
- 2 - 1 四条畷
- 0 - 2 近大付属
- 2 - 0 関西大倉
- 豊能大会予選
- 0 - 2 刀根山
- 2 - 0 大商学園
- 豊能大会本選
- 1 - 2 西野田工科
- 豊能大会敗者復活戦
- 2 - 0 箕面学園
- 2 - 0 大教大池田
- インターハイ予選
- 2 - 0 茨木
- 2 - 1 四条畷
- 0 - 2 池田
- 天校戦
- 0 - 1 天王寺
- 総体
- 2 - 0 箕面学園
- 2 - 0 大教大池田
- 2 - 1 渋谷
- 総体本選
- 0 - 2 城東工科
- 大阪新人高校大会（部別）
- 0 - 2 大商大
- 1 - 2 都島工業
- 0 - 2 豊島
- 大阪府立校大会予選
- 0 - 2 吹田東
- 2 - 0 北千里
- 2 - 0 箕面学園
- 大阪府立校大会本選
- 2 - 0 市立東
- 0 - 2 牧野

女子バレーボール部

私たちは、高い目標に向かって日々練習に励んでいます！少ない時間を大切にして、協力してくださっている方々への感謝を忘れず、全力でバレーを楽しみたいと思います！

- 今後とも応援よろしく願いします。
- 部員 2 年生 7 人、1 年生 9 人
- 2014年
- 春季大会 1 次予選
- 2 - 0 堺上
- 2 - 0 金光八尾
- 1 - 2 阪南
- 春季大会 2 次予選
- 0 - 2 同志社香里
- 大阪高校総合体育大会
- 0 - 2 池田
- 大阪高校新人大会
- 2 - 0 鶴見商業
- 2 - 0 開明
- 2 - 0 泉島取
- 大阪府公立高校大会
- 2 - 0 千里
- 2 - 1 春日丘
- 0 - 2 高槻北

男子バスケットボール部

- 男子バスケットボール部は、2 年 8 人、1 年 7 人、マネージャー 2 人の17人で活動しています。金曜は筋トレや走りこみ、火～木、土日は体育館で練習または練習試合をしています。本年度から体育科の先生が熱心に指導してくださっています。全員仲が良く、とても楽しい雰囲気で練習にも前向きに取り組んでいます！
- 中央大会出場目指し頑張りますので応援よろしく願いします！
- 2014年
- インハイ 予選
- 1 回戦 北野○79－61●貝塚南
- 2 回戦 北野○101－91●枚方なぎさ
- 3 回戦 北野○75－43●岸和田産業
- 4 回戦 北野○66－48●関西大第一
- 5 回戦 北野●43－74○北千里
- 最終結果 大阪ベスト24
- 大阪総体予選
- 1 回戦 第 2 シードのため試合なし
- 2 回戦 北野○61－60●早稲田摂陵
- 3 回戦 北野●56－99○大阪

女子バスケットボール部

私たち女子バスケットボール部は、現在 2 年生 4 人、1 年生 8 人の計12人で活動しています。月曜日と金曜日は体育館が使えないので、月曜日はオフで、金曜日は筋トレ等をしています。それ以外の日には体育館で練習できます。朝授業が始まる前や、昼休みには自由に体育館で練習ができます。毎日コーチが来てくださり、とても熱心に指導して下さいます。

男子ハンドボール部

- 僕たち男子ハンドボール部は指導者のいない中、現在 2 年生19人、1 年生20 人の計39人で活動しています。OBさんに練習を見てもらいながら日々、キャプテンを中心に一生懸命練習に励んでいます。
- 近畿大会出場を果たすなど、輝かしい成績を納められました先輩方を追い越せるよう、大阪ベスト4・近畿大会出場を目標として頑張っています。
- 2014年
- 春季大会（北地区大会）（ブロックリーグ戦）
- 北野20- 7 山田●
- 北野28-12都島工業●
- （ブロックトーナメント）
- 北野10- 9 茨木●

- 北野18-13千里青雲●
- 北野14-20大阪学院○
- 3 位決定戦 ○北野18-13淀川工科●（中央大会）
- 1 回戦 ○北野23-22堺東●
- 2 回戦 ●北野10-32桃山学院○
- 5 位決定トーナメント ●北野25-30大阪学院○
- 秋季大会
- 1 回戦 ●北野16-22藤井寺工科○
- 新人大会（地区シードのためブロック大会免除）（ブロックトーナメント）
- 北野10-16北千里○

女子ハンドボール部

私たちは現在 2 年生19人、1 年生14人、マネージャー 1 人の計34人で月～土曜日にハンドコートで活動しています。OBさんの指導のもと、近畿大会を目指し、夏の暑さにも負けず、冬の寒さにも負けず、元気いっぱい声を出して練習に励んでいます！

これからも私たち女ハンをよろしく願いします！

男子テニス部

- 男子テニス部は現在 2 年 7 人、1 年11 人の計18人でほぼ毎日活動しています。OBのみなさんからのボールやガット張り機はいつも大切にに使わせていただいています。
- 大阪総体団体の部ベスト8以上、近畿公立団体ベスト8以上という目標に向かって高い意識で日々練習に取り組んでいます。これからも男子テニス部をよろしく願いします。
- 2014年
- 6 月 ○春季赤坂杯
- シングルス ベスト16（1 名）、出場（1 名）
- 8 月 ○夏季大阪総体
- シングルス ベスト64（2 名）、出場（2 名）
- 大阪サマートーナメント
- シングルス 出場（2 名）
- 9 月 ○秋季大阪総体
- 団体戦 1 部 ベスト16
- 10～11月 ○大阪公立団体
- 団体戦 ベスト16

女子テニス部

- 現在、1 年生13人、2 年生 6 人で毎日楽しく、元気いっぱい活動しています。厳しいときは、厳しく！楽しむ時は楽しむ！をモットーに、一人一人が目標を持って頑張っています！
- 今年もOB・OGさんから練習球やテニス用品をいただきました。大切にに使わせて頂いております。ありがとうございます！
- これからも応援よろしく願いします！
- 2014年
- スプリングトーナメント（単）
- 本戦出場 2 人
- スプリングトーナメント（複）
- 本戦出場 1 組
- サマートーナメント（単）
- 本選出場 1 人
- サマートーナメント（複）
- 本選出場 1 組 ベスト4 1 組
- 夏季総体
- シングルス 1 人
- 本戦出場 ダブルス 2 組
- 秋季団体
- ベスト32

卓球部

- 卓球部は現在 2 年生男子 7 人、1 年生男子 3 人女子 3 人で活動しています。体育館またはセミナーハウスを借りてほとんど毎日練習しています。近畿大会出場を目指して部員全員が真剣に練習に励んでいます。OBの方々が来て下さるので、レベルの高い練習をする事が出来ます。
- 2015年
- 全国選抜シングルス予選（1 /12）
- 男子
- 5 回戦進出（ベスト16）
- 6 回戦進出（ベスト8）
- 2014年
- 全国選抜シングルス予選
- 男子シングルス（1 /12） 3 回戦進出
- チャレンジカップ（1 /13）
- 1 部リーグ
- 北野 3 - 0 河南
- 北野 3 - 0 箕面
- 1 位トーナメント
- 北野 3 - 1 電通大
- 北野 1 - 3 大阪学院
- 3 位入賞
- 春季大阪高校選手権大会
- 男子団体 ベスト16（4 /27、5 /5）
- 1 回戦 北野 3 - 1 豊中
- 2 回戦 北野 3 - 0 花園
- 3 回戦 北野 3 - 0 長尾
- 4 回戦 北野 3 - 1 城東工
- 5 回戦 北野 0 - 3 浪速
- 男子シングルス（5 /4）
- 5 回戦進出
- 男子ダブルス（5 /3）
- 2 回戦進出
- 全日本ジュニア予選
- 男子シングルス（8 /1）
- 6 回戦進出 ベスト64
- 女子シングルス
- 2 回戦進出
- 大阪高校新人大会
- 男子団体（8 /19）
- 1 回戦 北野 3 - 1 山田
- 2 回戦 北野 3 - 2 富田林
- 3 回戦 北野 0 - 3 上宮
- 男子シングルス（8 /17）
- 6 回戦進出（ベスト64）
- 男子ダブルス（8 /31）
- 5 回戦進出
- 女子ダブルス（5 /5）
- 2 回戦進出
- 大阪総体（11 /3）
- 1 回戦 北野 3 - 0 OBF
- 2 回戦 北野 3 - 0 箕面学園
- 3 回戦 北野 3 - 1 富田林
- 4 回戦 北野 2 - 3 四条畷

バドミントン部

バドミントン部は現在、2 年生12人＋1 年生24人で練習しています。月～水の朝練・火、木、金の昼練に加え、2004年 9 月からは遂に放課後体育館での練習も始まり、部員一同、常に上のレベルを目指しています。また、土日にはたくさんのOB・OGの方々が練習に参加して下さいます。

今後とも、僕達私達バドミントン部をよろしく願いします！！

- 2014年
- 61回大阪高等学校バドミントン選手権大会（冬の大会）
- 男子
- [ダブルスⅡ部] 4 回戦進出
- [シングルスⅡ部] 5 回戦進出
- 女子
- [ダブルスⅡ部] 3 回戦進出
- [シングルスⅡ部] 4 回戦進出
- 第68回大阪高等学校春季バドミントン競技大会（春の大会）
- 男子
- [団体] 2 回戦進出
- [ダブルスⅡ部] 5 回戦進出
- [シングルスⅡ部] 5 回戦進出
- 女子
- [団体] 2 回戦進出
- [ダブルスⅡ部] 3 回戦進出
- [シングルスⅡ部] 4 回戦進出
- 第69回大阪高等学校総合体育大会バドミントン競技の部（夏の大会）
- 男子
- [団体] 初戦敗退
- [ダブルスⅡ部] 2 回戦進出
- [シングルスⅡ部] 3 回戦進出
- 女子
- [団体] 2 回戦進出
- [ダブルスⅡ部] 4 回戦進出
- [シングルスⅡ部] 5 回戦進出

山岳部

山岳部が復活して 2 年目を迎えました。主に 2 年 4 人 1 年 3 人で普段は活動しています。

普段は、月、火、木曜日に体力作りをし、水、金曜日は山岳部の勉強としてガスを使って料理するなどしています。

また月に 1 回、山行に行っています。これまで、六甲山、愛宕山、金剛山、岩湧山に行きました。今年度は夏山合宿にも行くことが出来、富山県の立山を登りました。

OB、OGさんにも山行に付き添いとして参加してもらったり、テントの張り方や天気図の書き方を教えてもらったりしています。

去年は夏山合宿が無事成功したので、今年は大阪春季大会で優勝してインターハイに出場するのが目標です。

〈活動実績〉

■2014年

第69回大阪高校春季登山大会

団体 2 位

第50回大阪高校秋季登山大会

団体 3 位

男子 A 2 位

男子 B 3 位

《同好会》

園芸同好会

■2014年

基本的に前年度と変わらず、2 階の中央階段横のテラスで活動しています。

部員で相談して貰ったり、各自で持ち込んだりした花や野菜を育てています。

活動も、季節の変わり目には掃除、定期的な水やりと頻繁にはないので、ゆったりした雰囲気同好会です。

2014年度は、春に梅干しを漬け、夏に

テラスで育てたトマトやきゅうりを収穫し、秋には育てたサツマイモで毎年恒例の「おいもパーティー」を行いました。

超自然科学研究同好会

■2014年

現在、超自然科学研究会の部員は 2 年 3 人です。

発足 4 年目の今年も目立った活動はしていません。

しかしながら、メンバーはユニークな人が多いため、味のある部活になっています。

クイズ研究同好会

■2014年

クイズ研究同好会は現在 2 年生 7 人、1 年生 5 人で活動しています。

主な活動は、「早押しクイズ」です。また、昨年度に引き続き今年度もクイズ環境の整備に努め、交流する高校を増やし、新たな問題集も作りました。

○今年度の大会実績

全国高等学校クイズ選手権（高校生クイズ）大阪府大会優勝

全国高等学校クイズ選手権（高校生クイズ）全国大会 2 回戦進出

QuarK 17th 準々決勝進出（ペーパークイズ10位）

数学研究同好会

■2014年

活動休止中です。

女子サッカー同好会

■2014年

女子サッカー同好会は 3 年前の秋に創設された同好会です。

現在一年生 1 人で活動しています。

主に昼休みにグラウンドで練習しています。

127期生同窓会学年理事

	男 子		女 子	
理事	北條 智剛	3-2	築谷 愛未	3-6
副理事	田中 祥平	3-1	浅岡 祐希	3-2

127期生同窓会クラス幹事

組	担 任	男 子	女 子
1	出 口	田中 祥平	太田 優佳
2	佐 藤	北條 智剛	浅岡 祐希
3	細 江	西浦 拓哉	堀 瑠璃子
4	坂 口	西江 駿吉	五反田麗香
5	富 山	松下 怜矢	小林 和日
6	松 山	岡村 拓海	築谷 愛未
7	向 川	尾花 英之	瀧川みづき
8	神 川	阿比岨輝一	長瀬 由佳



事務局だより

理事会報告

■平成26年 9 月20日開催

- 110期の学年理事を酒井康生さんに委嘱することと決定した。
- 長野六稜会設立の要望があり、承認されたので準備に入ることとなった。
- 年会費納入率アップについて、この一年をキャンペーン期間として同期会他で納入のお願いをしていくこととなった。
- 総務委員会：10月26日（日）開催の141周年総会の概要について報告があった。
- 会館催事委員会：これまでトークリレーに講師を出していない期は是非講師を推薦してほしい

- との依頼があった。またクラブOBOG委員会でも講師推薦をお願いしたい。
- 名簿委員会：同期会で住所不明者の住所が判明した場合は事務局へ連絡をお願いしたい。
- 広報委員会：会報64号への投稿依頼があった。（締切12月末）
- FR委員会：秋に内定者イベント、来年上旬に行列のできる就活相談所・六稜若手交流会を開催する予定、また東京でのイベント開催、高校と大学研究室の連携を企画中である。
- クラブOBOG委員会： 9月28日にクラブ対抗ゴルフコンペを開催する。
- 東京：東京六稜倶楽部の活動報告があった。
- 理事会開催前に総務委員会（総会担当期95期幹事参加）、開催後に広報委員会が開催された。

お悔やみ

平成26年 3 月以降、平成26年12月までにご連絡頂きました方々をご卒業期順、および逝去順に掲載しております。（他に掲載辞退の方もいらっしゃいます）謹んでお知らせ致します。なお、本欄に誤りのある場合は、事務局までお知らせ下さい。次号で訂正させていただきます。（敬称略）

48期	杉山	大助	平成26年 4 月17日
51期	太田	幹夫	平成26年 8 月15日
53期	辻井	正	平成26年 4 月10日
	若林	豊治	平成26年 6 月27日
54期	飯田	一良	平成26年 6 月11日
55期	前田	亨夫	平成26年 9 月12日
56期	山口	収	平成26年 3 月15日
	吉田	源三郎	平成26年 6 月19日
	廣瀬	健治	平成26年 7 月 2 日
	川中	達一	平成26年 8 月26日
58期	久武	昭	平成26年 6 月28日
	上野	晴久	平成26年10月 8 日
	岸本	兆方	平成26年11月 7 日
59期	藤橋	典和	平成26年 8 月21日
60期	水野	柳太郎	平成26年 1 月 6 日
	尾形	順一	平成26年 5 月 1 日
	辻	昭	平成26年 6 月12日
61期	竺原	俊行	平成26年 6 月10日
	赤木	愛和	平成26年 7 月14日
	古川	晃	平成26年10月14日
62期	菱谷	一朗	平成26年 3 月20日
	牛込	進一	平成26年 5 月29日
	堀	博之	平成26年 9 月
	吉栖	勇	平成26年11月20日

63期	山崎	一清	平成26年 4 月 5 日
	小西	馨	平成26年 4 月30日
	塩見	卓資	平成26年 8 月29日
	小塩	佳司	平成26年10月 9 日
64期	倉井	哲夫	平成26年 2 月28日
	辻	靖弘	平成26年11月19日
	染谷	眞	平成26年11月28日
	野里	友雄	平成26年12月 3 日
65期	平田	博之	平成26年 3 月25日
66期	饒屋	喜代子	平成26年11月29日
	北野	禎三	平成26年12月 4 日
67期	山口	淳子	平成26年 7 月17日
	稲村	烝治	平成26年10月16日
68期	自然	健悦	平成26年 5 月13日
70期	山田	信雄	平成26年 3 月 2 日
	鶴川	多加司	平成26年 7 月31日
71期	松下	重明	平成26年 4 月12日
	進藤	千津子	平成26年11月 6 日
72期	池田	紘一	平成26年 5 月 8 日
73期	石田	雅明	平成26年 6 月30日
	杉原	一廣	平成26年10月 4 日
74期	長見	芳典	平成26年 3 月15日
	荒川	照雄	平成26年11月
75期	小西	阿優子	平成26年 7 月20日
	落合	和子	平成26年10月31日
78期	馬継	俊夫	平成26年 5 月14日
79期	辻	のぶ子	平成26年 7 月14日
82期	安達	元之	平成26年11月 9 日
83期	豊蔵	広倫	平成26年 9 月13日
84期	家村	一弥	平成26年 8 月29日
86期	野崎	陽子	平成26年 7 月10日
88期	五十嵐	達也	平成26年 8 月14日
91期	菱谷	拓也	平成26年 1 月 2 日
98期	坂上	浩子	平成26年 6 月12日
102期	橋本	未奈	平成26年12月10日



ヤチヨコアシステム 株式会社



2012年度関西経営品質賞受賞

「期待を超えるサービス」で
快適なオフィスワークの実現をお手伝いします

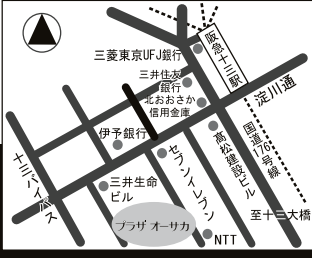
会 長 前 田 隆 弘 （67期）

本 社 〒530-0043 大阪市北区天満 3 丁目 7 番 4 号
TEL. (06) 6356-8484 (代) FAX. (06) 6356-8400

営業所 東京・品川・横浜・名古屋・京都・奈良・枚方・伊丹・堺
神戸・姫路・岡山・広島・福岡

ホテル パーティープラン

和洋中のお料理と、大中小の洋宴会場、お座敷宴会場完備
多彩な宴会形式に対応可能です！
全プラン飲み放題付！
ビール、焼酎、ウィスキー、
ワイン、ノンアルコールビール
ウーロン茶、オレンジジュース



P 8,000 円	洋食	ブッフェ 卓上盛り コース	和食	会席料理	中華	卓上盛り
A 7,000 円						
B 6,000 円	洋食	ブッフェ 卓上盛り				
C 5,000 円						

●お一人様あたりの税別料金です。

HOTEL プラザ オーサカ TEL 06-6303-1038
http://plazaosaka.com 宴会予約サロン

株式会社 徳岡設計
TOKUOKA SEKKEI LTD.

代表取締役社長

徳 岡 浩 二
（昭和55年卒 92期）

〒530-0047 大阪市北区西天満6丁目3番11-205号
TEL.06-6499-0701 FAX.06-6499-2223
E-mail:koji@tokuoka-ao.co.jp
http://www.tokuoka-ao.co.jp/

東京、兵庫、滋賀、福岡、ヤングン（ミャンマー）

表紙解題

気圧の低下により膨張を続けていた風船は、高度30,000m 上空辺りで、もはや堪えきれなくなって破裂してしまう。写真はその 2 秒後のもの。飛び散る風船の破片（ゴム片）が写っている。迫る台風18号の影響で地表は厚い雲に覆われている（写真右下）。神戸市西区から101分かけてここまで上昇してきた観測機は、ここで突然、浮力を失い、地球の引力に従って急降下へと転じる。琵琶湖東岸までの復路はわずか23分。詳細は本文記事を参照（P.12-13）。